

設 計 及 び 工 事 計 画 軽 微 変 更 届 出 書
(女川原子力発電所第2号機の設計及び工事の計画の変更)

東 北 電 原 設 第 6 号
令 和 5 年 3 月 6 日

原子力規制委員会 殿

仙台市青葉区本町一丁目7番1号
東北電力株式会社
取締役社長 社長執行役員
樋口 康二郎

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9
第6項の規定により、別紙のとおり設計及び工事の計画を変更したので届け
出ます。

別 紙

目 次

- I 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名
- II 変更に係る発電用原子炉施設の概要
- III 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項又は第2項の認可年月日及び認可番号
- IV 変更の内容
- V 変更の理由

I 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては，その代表者の氏名

- I 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名
- | | | |
|--------|-------|--------------------|
| 名 | 称 | 東北電力株式会社 |
| 住 | 所 | 宮城県仙台市青葉区本町一丁目7番1号 |
| 代表者の氏名 | 取締役社長 | 社長執行役員 樋口 康二郎 |

II 変更に係る発電用原子炉施設の概要

II 変更に係る発電用原子炉施設の概要

1. 発電用原子炉を設置する工場又は事業所の名称及び所在地

名 称 女川原子力発電所
所 在 地 宮城県牡鹿郡女川町及び石巻市

2. 発電用原子炉施設の出力及び周波数

出 力 1 6 5 0 0 0 0 k W
第 2 号機 8 2 5 0 0 0 k W (今回届出分)
第 3 号機 8 2 5 0 0 0 k W
周 波 数 5 0 Hz

3. 変更に係る発電用原子炉施設の種類

1 原子炉本体

1.9 原子炉本体に係る工事の方法

2 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

2.4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備

2.4.1 燃料プール冷却浄化系

(8) 主配管 (スプレイヘッドを含む。) (常設)

3 原子炉冷却系統施設

3.4 原子炉冷却材の循環設備

3.4.4 復水浄化系

(8) 主配管

3.5 残留熱除去設備

3.5.1 残留熱除去系

(6) 安全弁及び逃がし弁 (常設)

(8) 主配管 (常設)

3.6 非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備

3.6.5 低圧代替注水系

(7) 主配管 (常設)

3.7 原子炉冷却材補給設備

3.7.2 補給水系

(2) 容器

(5) 主配管

3.9 原子炉冷却材浄化設備

3.9.1 原子炉冷却材浄化系

(6) 主配管

4 計測制御系統施設

- 4.3 制御材駆動装置
 - (2) 制御棒駆動水圧設備
 - (2.1) 制御棒駆動水圧系
 - ロ 容器（常設）
- 5 放射性廃棄物の廃棄施設
 - 5.2 気体，液体又は固体廃棄物処理設備
 - 5.2.1 気体廃棄物処理系
 - (10) 主配管
 - 5.2.2 液体廃棄物処理系
 - 5.2.2.4 サプレッションプール水貯蔵系
 - (10) 主配管
- 6 放射線管理施設
 - 6.2 換気設備（中央制御室，緊急時制御室及び緊急時対策所に設置するもの（非常用のものに限る。）並びに放射性物質により汚染された空気による放射線障害を防止する目的で給気又は排気設備として設置するもの。一時的に設置する可搬型のものを除く。）
 - 6.2.4 緊急時対策所加圧空気供給系
 - (3) 主配管（常設）
 - 6.3 生体遮蔽装置
 - (4) 中央制御室遮蔽
- 7 原子炉格納施設
 - 7.2 原子炉建屋
 - (1) 原子炉建屋原子炉棟
 - (2) 機器搬出入口
 - (3) エアロック
 - 7.3 圧力低減設備その他の安全設備
 - (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
 - a 非常用ガス処理系
 - ホ 加熱器（常設）
 - d 放射性物質拡散抑制系
 - ル 主配管（可搬型）
 - (8) 原子炉格納容器調気設備
 - a 原子炉格納容器調気系
 - ホ 主配管
- 8 その他発電用原子炉の附属施設
 - 8.1.2 非常用発電装置
 - 8.1.2.1 非常用ディーゼル発電設備
 - (4) 燃料設備
 - ニ 主配管（常設）

- 8.1.2.2 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備
 - (4) 燃料設備
 - ニ 主配管（常設）
- 8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備
 - (2) 内燃機関
 - イ 機関（可搬型）
 - ホ 燃料デイトンク又はサービスタンク（可搬型）
 - (5) 発電機
 - イ 発電機（可搬型）
- 8.1.2.5 可搬型代替直流電源設備
 - (4) 燃料設備
 - ロ 容器（可搬型）
- 8.1.2.6 緊急時対策所ディーゼル発電設備
 - (5) 発電機
 - イ 発電機（可搬型）
- 8.4 火災防護設備
 - 8.4.3 火災防護設備の基本設計方針，適用基準及び適用規格
 - (1) 基本設計方針
 - 表1 火災防護設備の主要設備リスト
- 8.5 浸水防護施設
 - 8.5.1 外郭浸水防護設備
 - 8.5.2 内郭浸水防護設備
 - (1) 防水区画構造物

III 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 4 3 条の 3
の 9 第 1 項又は第 2 項の認可年月日及び認可番号

Ⅲ 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項又は第2項の
認可年月日及び認可番号

認可年月日 令和3年12月23日

認可番号 原規規発第2112231号

IV 変更の内容

IV 変更の内容

別紙-1～30のとおり

V 変更の理由

V 変更の理由

令和3年12月23日付け原規規発第 2112231 号にて認可された工事計画において、適正化が必要な箇所が認められたため以下のとおり変更を行った。なお、他の関連する添付書類への影響はなく、記載の変更は生じない。

- (1) 原子炉本体に係る工事の方法（別紙－1）の適正化
- (2) 燃料プール冷却浄化系主配管（スプレイヘッダを含む。）（常設）の要目表（別紙－2）の適正化
- (3) 復水浄化系主配管の要目表（別紙－3）の適正化
- (4) 残留熱除去系安全弁及び逃がし弁（常設）の要目表（別紙－4）の適正化
- (5) 残留熱除去系主配管（常設）の要目表（別紙－5）の適正化
- (6) 低圧代替注水系主配管（常設）の要目表（別紙－6）の適正化
- (7) 補給水系容器の要目表（別紙－7）の適正化
- (8) 補給水系主配管の要目表（別紙－8）の適正化
- (9) 原子炉冷却材浄化系主配管の要目表（別紙－9）の適正化
- (10) 制御棒駆動水压系容器（常設）の要目表（別紙－10）の適正化
- (11) 気体廃棄物処理系主配管の要目表（別紙－11）の適正化
- (12) サプレッションプール水貯蔵系主配管の要目表（別紙－12）の適正化
- (13) 緊急時対策所加圧空気供給系主配管（常設）の要目表（別紙－13）の適正化
- (14) 中央制御室遮蔽の要目表（別紙－14）の適正化
- (15) 原子炉建屋原子炉棟の要目表（別紙－15）の適正化
- (16) 機器搬出入口の要目表（別紙－16）の適正化
- (17) エアロックの要目表（別紙－17）の適正化
- (18) 非常用ガス処理系加熱器（常設）の要目表（別紙－18）の適正化
- (19) 放射性物質拡散抑制系主配管（可搬型）の要目表（別紙－19）の適正化
- (20) 原子炉格納容器調気系主配管の要目表（別紙－20）の適正化
- (21) 非常用ディーゼル発電設備の燃料設備主配管（常設）の要目表（別紙－21）の適正化
- (22) 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備の燃料設備主配管（常設）の要目表（別紙－22）の適正化
- (23) 可搬型代替交流電源設備の内燃機関の機関（可搬型）の要目表（別紙－23）の適正化
- (24) 可搬型代替交流電源設備の内燃機関の燃料デイトンク又はサービスタンク（可搬型）の要目表（別紙－24）の適正化
- (25) 可搬型代替交流電源設備の発電機の発電機（可搬型）の要目表（別紙－25）の適正化
- (26) 可搬型代替直流電源設備の燃料設備の容器（可搬型）の要目表（別紙－26）の適正化

- (27) 緊急時対策所ディーゼル発電設備の発電機の発電機(可搬型)の要目表(別紙-27)の適正化
- (28) 火災防護設備の基本設計方針, 適用基準及び適用規格の表1 火災防護設備の主要設備リスト(別紙-28)の適正化
- (29) 外郭浸水防護設備(別紙-29)の適正化
- (30) 内郭浸水防護設備の防水区画構造物(別紙-30)の適正化

| 変 更 前 | 変 更 後 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------------------------------|---|--|---|------|---|---|-----------------------------------|---|------|-----------------------------------|---|---------------------------------------|--|------------------|---------------------------------------|--|-------------------------------------|------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|------|---------------------------------------|-------------|--|-----|-----|--|------|------|------|---|------|---|------|-----------------------------------|---|------|-------------------|------------------|---------------------------------------|--|-----------|------------------------|-------|-------------------------------------|------|---------------------------------------|-------------|-----------------------------------|
| <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); font-weight: bold;">O2 ⑥ II R1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:80%;">変更前</th> <th style="width:20%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>2.1.3 燃料体に係る検査</p> <p>燃料体については、以下(1)～(3)の加工の工程ごとに表2-6に示す検査を実施する。なお、燃料体を発電用原子炉に受け入れた後は、原子炉本体として機能又は性能に係る検査を実施する。</p> <p>(1) 燃料材、燃料被覆材その他の部品については、組成、構造又は強度に係る試験をすることができる状態になった時</p> <p>(2) 燃料要素の加工が完了した時</p> <p>(3) 加工が完了した時</p> <p>また、燃料体については構造、強度又は漏えいに係る検査を実施することにより、技術基準への適合性が確認できることから、構造、強度又は漏えいに係る検査の実施をもって工事の完了とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-6 構造、強度又は漏えいに係る検査（燃料体）*</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>検査項目</th> <th>検査方法</th> <th>判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(1)燃料材、燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成、構造又は強度に係る検査</td> <td>材料検査</td> <td>使用されている材料の化学成分、機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>寸法検査</td> <td>主要寸法が工事計画のとおりであり、許容寸法内であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(2)燃料要素に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 表面汚染密度検査 四 溶接部の非破壊検査 五 漏えい検査（この表の(3)三に掲げる検査が行われる場合を除く。）</td> <td>外観検査</td> <td>有害な欠陥等がないことを確認する。</td> </tr> <tr> <td>表面汚染密度検査 密度検査</td> <td>表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 漏えい検査（この表の(2)六に掲げる検査が行われる場合を除く。） 四 質量検査</td> <td>溶接部の非破壊検査</td> <td>溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。</td> </tr> <tr> <td>漏えい検査</td> <td>漏えい試験における漏えい量が、技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td>質量検査</td> <td>燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり、許容値内であることを確認する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*：基本設計方針のうち適合性確認対象に対して実施可能な検査を含む。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>変更なし</p> </td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">1-9-8</div> </div> | 変更前 | 変更後 | <p>2.1.3 燃料体に係る検査</p> <p>燃料体については、以下(1)～(3)の加工の工程ごとに表2-6に示す検査を実施する。なお、燃料体を発電用原子炉に受け入れた後は、原子炉本体として機能又は性能に係る検査を実施する。</p> <p>(1) 燃料材、燃料被覆材その他の部品については、組成、構造又は強度に係る試験をすることができる状態になった時</p> <p>(2) 燃料要素の加工が完了した時</p> <p>(3) 加工が完了した時</p> <p>また、燃料体については構造、強度又は漏えいに係る検査を実施することにより、技術基準への適合性が確認できることから、構造、強度又は漏えいに係る検査の実施をもって工事の完了とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-6 構造、強度又は漏えいに係る検査（燃料体）*</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>検査項目</th> <th>検査方法</th> <th>判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(1)燃料材、燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成、構造又は強度に係る検査</td> <td>材料検査</td> <td>使用されている材料の化学成分、機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>寸法検査</td> <td>主要寸法が工事計画のとおりであり、許容寸法内であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(2)燃料要素に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 表面汚染密度検査 四 溶接部の非破壊検査 五 漏えい検査（この表の(3)三に掲げる検査が行われる場合を除く。）</td> <td>外観検査</td> <td>有害な欠陥等がないことを確認する。</td> </tr> <tr> <td>表面汚染密度検査 密度検査</td> <td>表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 漏えい検査（この表の(2)六に掲げる検査が行われる場合を除く。） 四 質量検査</td> <td>溶接部の非破壊検査</td> <td>溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。</td> </tr> <tr> <td>漏えい検査</td> <td>漏えい試験における漏えい量が、技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td>質量検査</td> <td>燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり、許容値内であることを確認する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*：基本設計方針のうち適合性確認対象に対して実施可能な検査を含む。</p> | 検査項目 | 検査方法 | 判定基準 | (1)燃料材、燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成、構造又は強度に係る検査 | 材料検査 | 使用されている材料の化学成分、機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。 | 寸法検査 | 主要寸法が工事計画のとおりであり、許容寸法内であることを確認する。 | (2)燃料要素に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 表面汚染密度検査 四 溶接部の非破壊検査 五 漏えい検査（この表の(3)三に掲げる検査が行われる場合を除く。） | 外観検査 | 有害な欠陥等がないことを確認する。 | 表面汚染密度検査 密度検査 | 表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。 | (3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 漏えい検査（この表の(2)六に掲げる検査が行われる場合を除く。） 四 質量検査 | 溶接部の非破壊検査 | 溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。 | 漏えい検査 | 漏えい試験における漏えい量が、技術基準の規定を満足することを確認する。 | 質量検査 | 燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり、許容値内であることを確認する。 | <p>変更なし</p> | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); font-weight: bold;">O2 軽微 II R1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:80%;">変更前</th> <th style="width:20%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>2.1.3 燃料体に係る検査</p> <p>燃料体については、以下(1)～(3)の加工の工程ごとに表2-6に示す検査を実施する。なお、燃料体を発電用原子炉に受け入れた後は、原子炉本体として機能又は性能に係る検査を実施する。</p> <p>(1) 燃料材、燃料被覆材その他の部品については、組成、構造又は強度に係る試験をすることができる状態になった時</p> <p>(2) 燃料要素の加工が完了した時</p> <p>(3) 加工が完了した時</p> <p>また、燃料体については構造、強度又は漏えいに係る検査を実施することにより、技術基準への適合性が確認できることから、構造、強度又は漏えいに係る検査の実施をもって工事の完了とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-6 構造、強度又は漏えいに係る検査（燃料体）*</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>検査項目</th> <th>検査方法</th> <th>判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(1)燃料材、燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成、構造又は強度に係る検査</td> <td>材料検査</td> <td>使用されている材料の化学成分、機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>寸法検査</td> <td>主要寸法が工事計画のとおりであり、許容寸法内であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(2)燃料要素に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 表面汚染密度検査 四 溶接部の非破壊検査 五 漏えい検査（この表の(3)三に掲げる検査が行われる場合を除く。）</td> <td>外観検査</td> <td>有害な欠陥等がないことを確認する。</td> </tr> <tr> <td>表面汚染密度検査 密度検査</td> <td>表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 漏えい検査（この表の(2)五に掲げる検査が行われる場合を除く。） 四 質量検査</td> <td>溶接部の非破壊検査</td> <td>溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。</td> </tr> <tr> <td>漏えい検査</td> <td>漏えい試験における漏えい量が、技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td>質量検査</td> <td>燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり、許容値内であることを確認する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*：基本設計方針のうち適合性確認対象に対して実施可能な検査を含む。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>変更なし</p> </td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">1-9-8</div> </div> | 変更前 | 変更後 | <p>2.1.3 燃料体に係る検査</p> <p>燃料体については、以下(1)～(3)の加工の工程ごとに表2-6に示す検査を実施する。なお、燃料体を発電用原子炉に受け入れた後は、原子炉本体として機能又は性能に係る検査を実施する。</p> <p>(1) 燃料材、燃料被覆材その他の部品については、組成、構造又は強度に係る試験をすることができる状態になった時</p> <p>(2) 燃料要素の加工が完了した時</p> <p>(3) 加工が完了した時</p> <p>また、燃料体については構造、強度又は漏えいに係る検査を実施することにより、技術基準への適合性が確認できることから、構造、強度又は漏えいに係る検査の実施をもって工事の完了とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-6 構造、強度又は漏えいに係る検査（燃料体）*</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>検査項目</th> <th>検査方法</th> <th>判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(1)燃料材、燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成、構造又は強度に係る検査</td> <td>材料検査</td> <td>使用されている材料の化学成分、機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>寸法検査</td> <td>主要寸法が工事計画のとおりであり、許容寸法内であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(2)燃料要素に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 表面汚染密度検査 四 溶接部の非破壊検査 五 漏えい検査（この表の(3)三に掲げる検査が行われる場合を除く。）</td> <td>外観検査</td> <td>有害な欠陥等がないことを確認する。</td> </tr> <tr> <td>表面汚染密度検査 密度検査</td> <td>表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 漏えい検査（この表の(2)五に掲げる検査が行われる場合を除く。） 四 質量検査</td> <td>溶接部の非破壊検査</td> <td>溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。</td> </tr> <tr> <td>漏えい検査</td> <td>漏えい試験における漏えい量が、技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td>質量検査</td> <td>燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり、許容値内であることを確認する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*：基本設計方針のうち適合性確認対象に対して実施可能な検査を含む。</p> | 検査項目 | 検査方法 | 判定基準 | (1)燃料材、燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成、構造又は強度に係る検査 | 材料検査 | 使用されている材料の化学成分、機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。 | 寸法検査 | 主要寸法が工事計画のとおりであり、許容寸法内であることを確認する。 | (2)燃料要素に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 表面汚染密度検査 四 溶接部の非破壊検査 五 漏えい検査（この表の(3)三に掲げる検査が行われる場合を除く。） | 外観検査 | 有害な欠陥等がないことを確認する。 | 表面汚染密度検査 密度検査 | 表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。 | (3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 漏えい検査（この表の(2)五に掲げる検査が行われる場合を除く。） 四 質量検査 | 溶接部の非破壊検査 | 溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。 | 漏えい検査 | 漏えい試験における漏えい量が、技術基準の規定を満足することを確認する。 | 質量検査 | 燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり、許容値内であることを確認する。 | <p>変更なし</p> | <p>記載の適正化 (引用先に関する記載の適正化)</p> |
| 変更前 | 変更後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>2.1.3 燃料体に係る検査</p> <p>燃料体については、以下(1)～(3)の加工の工程ごとに表2-6に示す検査を実施する。なお、燃料体を発電用原子炉に受け入れた後は、原子炉本体として機能又は性能に係る検査を実施する。</p> <p>(1) 燃料材、燃料被覆材その他の部品については、組成、構造又は強度に係る試験をすることができる状態になった時</p> <p>(2) 燃料要素の加工が完了した時</p> <p>(3) 加工が完了した時</p> <p>また、燃料体については構造、強度又は漏えいに係る検査を実施することにより、技術基準への適合性が確認できることから、構造、強度又は漏えいに係る検査の実施をもって工事の完了とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-6 構造、強度又は漏えいに係る検査（燃料体）*</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>検査項目</th> <th>検査方法</th> <th>判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(1)燃料材、燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成、構造又は強度に係る検査</td> <td>材料検査</td> <td>使用されている材料の化学成分、機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>寸法検査</td> <td>主要寸法が工事計画のとおりであり、許容寸法内であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(2)燃料要素に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 表面汚染密度検査 四 溶接部の非破壊検査 五 漏えい検査（この表の(3)三に掲げる検査が行われる場合を除く。）</td> <td>外観検査</td> <td>有害な欠陥等がないことを確認する。</td> </tr> <tr> <td>表面汚染密度検査 密度検査</td> <td>表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 漏えい検査（この表の(2)六に掲げる検査が行われる場合を除く。） 四 質量検査</td> <td>溶接部の非破壊検査</td> <td>溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。</td> </tr> <tr> <td>漏えい検査</td> <td>漏えい試験における漏えい量が、技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td>質量検査</td> <td>燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり、許容値内であることを確認する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*：基本設計方針のうち適合性確認対象に対して実施可能な検査を含む。</p> | 検査項目 | 検査方法 | 判定基準 | (1)燃料材、燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成、構造又は強度に係る検査 | 材料検査 | 使用されている材料の化学成分、機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。 | 寸法検査 | 主要寸法が工事計画のとおりであり、許容寸法内であることを確認する。 | (2)燃料要素に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 表面汚染密度検査 四 溶接部の非破壊検査 五 漏えい検査（この表の(3)三に掲げる検査が行われる場合を除く。） | 外観検査 | 有害な欠陥等がないことを確認する。 | 表面汚染密度検査 密度検査 | 表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。 | (3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 漏えい検査（この表の(2)六に掲げる検査が行われる場合を除く。） 四 質量検査 | 溶接部の非破壊検査 | 溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。 | 漏えい検査 | 漏えい試験における漏えい量が、技術基準の規定を満足することを確認する。 | 質量検査 | 燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり、許容値内であることを確認する。 | <p>変更なし</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 検査項目 | 検査方法 | 判定基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1)燃料材、燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成、構造又は強度に係る検査 | 材料検査 | 使用されている材料の化学成分、機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 寸法検査 | 主要寸法が工事計画のとおりであり、許容寸法内であることを確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2)燃料要素に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 表面汚染密度検査 四 溶接部の非破壊検査 五 漏えい検査（この表の(3)三に掲げる検査が行われる場合を除く。） | 外観検査 | 有害な欠陥等がないことを確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 表面汚染密度検査 密度検査 | 表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 漏えい検査（この表の(2)六に掲げる検査が行われる場合を除く。） 四 質量検査 | 溶接部の非破壊検査 | 溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 漏えい検査 | 漏えい試験における漏えい量が、技術基準の規定を満足することを確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 質量検査 | 燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり、許容値内であることを確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 変更前 | 変更後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>2.1.3 燃料体に係る検査</p> <p>燃料体については、以下(1)～(3)の加工の工程ごとに表2-6に示す検査を実施する。なお、燃料体を発電用原子炉に受け入れた後は、原子炉本体として機能又は性能に係る検査を実施する。</p> <p>(1) 燃料材、燃料被覆材その他の部品については、組成、構造又は強度に係る試験をすることができる状態になった時</p> <p>(2) 燃料要素の加工が完了した時</p> <p>(3) 加工が完了した時</p> <p>また、燃料体については構造、強度又は漏えいに係る検査を実施することにより、技術基準への適合性が確認できることから、構造、強度又は漏えいに係る検査の実施をもって工事の完了とする。</p> <p style="text-align: center;">表2-6 構造、強度又は漏えいに係る検査（燃料体）*</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>検査項目</th> <th>検査方法</th> <th>判定基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(1)燃料材、燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成、構造又は強度に係る検査</td> <td>材料検査</td> <td>使用されている材料の化学成分、機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。</td> </tr> <tr> <td>寸法検査</td> <td>主要寸法が工事計画のとおりであり、許容寸法内であることを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(2)燃料要素に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 表面汚染密度検査 四 溶接部の非破壊検査 五 漏えい検査（この表の(3)三に掲げる検査が行われる場合を除く。）</td> <td>外観検査</td> <td>有害な欠陥等がないことを確認する。</td> </tr> <tr> <td>表面汚染密度検査 密度検査</td> <td>表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 漏えい検査（この表の(2)五に掲げる検査が行われる場合を除く。） 四 質量検査</td> <td>溶接部の非破壊検査</td> <td>溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。</td> </tr> <tr> <td>漏えい検査</td> <td>漏えい試験における漏えい量が、技術基準の規定を満足することを確認する。</td> </tr> <tr> <td>質量検査</td> <td>燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり、許容値内であることを確認する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*：基本設計方針のうち適合性確認対象に対して実施可能な検査を含む。</p> | 検査項目 | 検査方法 | 判定基準 | (1)燃料材、燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成、構造又は強度に係る検査 | 材料検査 | 使用されている材料の化学成分、機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。 | 寸法検査 | 主要寸法が工事計画のとおりであり、許容寸法内であることを確認する。 | (2)燃料要素に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 表面汚染密度検査 四 溶接部の非破壊検査 五 漏えい検査（この表の(3)三に掲げる検査が行われる場合を除く。） | 外観検査 | 有害な欠陥等がないことを確認する。 | 表面汚染密度検査 密度検査 | 表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。 | (3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 漏えい検査（この表の(2)五に掲げる検査が行われる場合を除く。） 四 質量検査 | 溶接部の非破壊検査 | 溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。 | 漏えい検査 | 漏えい試験における漏えい量が、技術基準の規定を満足することを確認する。 | 質量検査 | 燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり、許容値内であることを確認する。 | <p>変更なし</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 検査項目 | 検査方法 | 判定基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1)燃料材、燃料被覆材その他の部品の化学成分の分析結果の確認その他これらの部品の組成、構造又は強度に係る検査 | 材料検査 | 使用されている材料の化学成分、機械的強度等が工事計画のとおりであることを確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 寸法検査 | 主要寸法が工事計画のとおりであり、許容寸法内であることを確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2)燃料要素に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 表面汚染密度検査 四 溶接部の非破壊検査 五 漏えい検査（この表の(3)三に掲げる検査が行われる場合を除く。） | 外観検査 | 有害な欠陥等がないことを確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 表面汚染密度検査 密度検査 | 表面に付着している核燃料物質の量が技術基準の規定を満足することを確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3)組み立てられた燃料体に係る次の検査 一 寸法検査 二 外観検査 三 漏えい検査（この表の(2)五に掲げる検査が行われる場合を除く。） 四 質量検査 | 溶接部の非破壊検査 | 溶接部の健全性を非破壊検査等により確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 漏えい検査 | 漏えい試験における漏えい量が、技術基準の規定を満足することを確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 質量検査 | 燃料集合体の総質量が工事計画のとおりであり、許容値内であることを確認する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

変更前

| 変更前 | | | | 変更後 | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----------------|-----------------|--------------------------|--------------------------|--------|---|-------|-----------------|-----------------|--------------------------|--------------------------|-------|----------|-------|--------|
| 名 | 称 | 最高使用 圧 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 ^{*1} (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材 料 | 名 | 称 | 最高使用 圧 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 ^{*1} (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材 料 | | | |
| 燃料プールの冷却浄化系 ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | | 1.37** | 66 | 216.3 | 7.1 | STS410 | 燃料プールの冷却浄化系ポンプ ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | 216.3 | 66 | 1.37** | 66 | 216.3 | (8.2) | STS410** | | |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (7.1) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| 燃料プールの冷却浄化系 ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | | 1.37** | 66 | 216.3 | 7.1 | STS410 | 燃料プールの冷却浄化系ポンプ ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | 216.3 | 66 | 1.37** | 66 | 216.3 | (8.2) | STS410** | | |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (7.1) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| 燃料プールの冷却浄化系 ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | | 1.37** | 66 | 216.3 | 7.1 | STS410 | 燃料プールの冷却浄化系ポンプ ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | 216.3 | 66 | 1.37** | 66 | 216.3 | (8.2) | STS410** | | |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (7.1) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| 燃料プールの冷却浄化系 ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | | 1.37** | 66 | 216.3 | 7.1 | STS410 | 燃料プールの冷却浄化系ポンプ ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | 216.3 | 66 | 1.37** | 66 | 216.3 | (8.2) | STS410** | | |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (7.1) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| 燃料プールの冷却浄化系 ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | | 1.37** | 66 | 216.3 | 7.1 | STS410 | 燃料プールの冷却浄化系ポンプ ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | 216.3 | 66 | 1.37** | 66 | 216.3 | (8.2) | STS410** | | |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (7.1) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |

2-1-1-6

02 機界 II RO

02 機界 II RO

変更後

| 変更前 | | | | 変更後 | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----------------|-----------------|--------------------------|--------------------------|--------|---|-------|-----------------|-----------------|--------------------------|--------------------------|-------|----------|-------|--------|
| 名 | 称 | 最高使用 圧 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 ^{*1} (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材 料 | 名 | 称 | 最高使用 圧 (MPa) | 最高使用 温度 (°C) | 外径 ^{*1} (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材 料 | | | |
| 燃料プールの冷却浄化系 ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | | 1.37** | 66 | 216.3 | 7.1 | STS410 | 燃料プールの冷却浄化系ポンプ ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | 216.3 | 66 | 1.37** | 66 | 216.3 | (8.2) | STS410** | | |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (7.1) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| 燃料プールの冷却浄化系 ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | | 1.37** | 66 | 216.3 | 7.1 | STS410 | 燃料プールの冷却浄化系ポンプ ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | 216.3 | 66 | 1.37** | 66 | 216.3 | (8.2) | STS410** | | |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (7.1) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| 燃料プールの冷却浄化系 ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | | 1.37** | 66 | 216.3 | 7.1 | STS410 | 燃料プールの冷却浄化系ポンプ ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | 216.3 | 66 | 1.37** | 66 | 216.3 | (8.2) | STS410** | | |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (7.1) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| 燃料プールの冷却浄化系 ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | | 1.37** | 66 | 216.3 | 7.1 | STS410 | 燃料プールの冷却浄化系ポンプ ~ 燃料プールの冷却浄化系通風 機器バイパス配管分岐点 (第1,2号機共用) | 216.3 | 66 | 1.37** | 66 | 216.3 | (8.2) | STS410** | | |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (7.1) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |
| | | | | | 1.37** | 66 | | | | | | | | 216.3 | (8.2) | STS410 |

2-1-1-6

備考
記載の適正化
(材料のJIS表記
の適正化)

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

| 変更前 | | 変更後 | | 変更前 | | 変更後 | | 変更前 | | 変更後 | | 備考 | | | |
|--|--------------|--------------------|-------------|---------|---------|----------|-------|-----|---|-------------|-------------|---------|---------|---|---|
| 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材 | 料 | 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材 | 料 |
| 3.4.4 復水浄化系 (8) 主配管 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 復水給水系 | 復水の過装置置復水の過器 | 1.94 ^{*1} | 66 | 406.4 | (12.7) | SPT38 | | | | | | | | | |
| 復水給水系 | 復水の過装置置復水の過器 | 1.94 ^{*1} | 66 | 406.4 | (12.7) | SUS304TP | | | | | | | | | |
| 復水給水系 | 復水の過装置置復水の過器 | 1.94 ^{*1} | 66 | 406.4 | (12.7) | SUS304TP | 復水浄化系 | | | | | | | | |
| 復水給水系 | 復水の過装置置復水の過器 | 1.94 ^{*1} | 66 | 406.4 | (12.7) | SPT38 | | | | | | | | | |
| 復水給水系 | 復水の過装置置復水の過器 | 1.94 ^{*1} | 66 | 318.5 | (10.3) | SPT38 | | | | | | | | | |
| 復水給水系 | 復水の過装置置復水の過器 | 1.94 ^{*1} | 66 | 318.5 | (10.3) | SPT38 | | | | | | | | | |
| 注記*1：外径は公称値を示す。 *2：()内は公称値を示す。 *3：S I単位に換算したものである。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3-4-4-1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3.4.4 復水浄化系 (8) 主配管 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 復水給水系 | 復水の過装置置復水の過器 | 1.94 ^{*1} | 66 | 406.4 | (12.7) | SPT370 | | | | | | | | | |
| 復水給水系 | 復水の過装置置復水の過器 | 1.94 ^{*1} | 66 | 406.4 | (12.7) | SUS304TP | | | | | | | | | |
| 復水給水系 | 復水の過装置置復水の過器 | 1.94 ^{*1} | 66 | 406.4 | (12.7) | SUS304TP | 復水浄化系 | | | | | | | | |
| 復水給水系 | 復水の過装置置復水の過器 | 1.94 ^{*1} | 66 | 406.4 | (12.7) | SPT370 | | | | | | | | | |
| 復水給水系 | 復水の過装置置復水の過器 | 1.94 ^{*1} | 66 | 318.5 | (10.3) | SPT370 | | | | | | | | | |
| 復水給水系 | 復水の過装置置復水の過器 | 1.94 ^{*1} | 66 | 318.5 | (10.3) | SPT370 | | | | | | | | | |
| 注記*1：外径は公称値を示す。 *2：()内は公称値を示す。 *3：()内は公称値を示す。 *4：()内は公称値を示す。 *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SPT38」と記載。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3-4-4-1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| O2 第一 II R0 | | | | | | | | | | | | | | | |

記載の適正化
(材料の J I S 表記の適正化, 関連する注記の追加)

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表 【II 工事計画】

変更前

変更後

備考

(6) 安全弁及び逆がし弁 (常設)

| 名 | 種 | 型 | 称 | E11-FQ88A ^{*2} | E11-FQ88C ^{*1} | E11-FQ88B ^{*3} | E11-FQ88C ^{*4} |
|-------|------|------------------------------------|---|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 吹出圧力 | MPa | 平衡型 | | | | | |
| 吹出量 | kg/h | 3.73 | | | | | |
| 呼び径 | mm | 24390 ^{*5} | | | | | |
| のど部の径 | mm | 25A | | | | | |
| 弁座口の径 | mm | 24 ^{*6} | | | | | |
| リフト | mm | | | | | | |
| 材料 | | SCPH2 | | | | | |
| 駆動方法 | | 3 | | | | | |
| 取付位置 | | E11-FQ88A,B,C 残留熱除去系 原子炉熱除去系 | | | | | |
| 設置場所 | | O.P.-8,10m | | | | | |

注記*1：既工事計画に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図表による。
 *2：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (代替循環冷却系、残留熱除去系) 及び原子炉格納容器下部注水系、代替循環冷却系、残留熱除去系 (格納容器スプレィ冷却モード)、残留熱除去系 (サブプレッシャープール冷却モード) と兼用。
 *3：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (残留熱除去系) 及び原子炉格納容器下部注水系、代替循環冷却系 (格納容器スプレィ冷却モード)、残留熱除去系 (サブプレッシャープール冷却モード) と兼用。
 *4：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (残留熱除去系) と兼用。
 *5：公称値を示す。

印刷時の内容は添付書類の欄から公開できません。
 3-5-1-6

変更なし

02
変更1
R1

(6) 安全弁及び逆がし弁 (常設)

| 名 | 種 | 型 | 称 | E11-FQ88A ^{*2} | E11-FQ88C ^{*1} | E11-FQ88B ^{*3} | E11-FQ88C ^{*4} |
|-------|------|-------------------------|---|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 吹出圧力 | MPa | 平衡型 | | | | | |
| 吹出量 | kg/h | 3.73 | | | | | |
| 呼び径 | mm | 24390 ^{*5} | | | | | |
| のど部の径 | mm | 25A | | | | | |
| 弁座口の径 | mm | 24 ^{*6} | | | | | |
| リフト | mm | | | | | | |
| 材料 | | SCPH2 | | | | | |
| 駆動方法 | | 3 | | | | | |
| 取付位置 | | E11-FQ88A,B,C 残留熱除去系 | | | | | |
| 設置場所 | | O.P.-8,10m | | | | | |

注記*1：既工事計画に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図表による。
 *2：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (代替循環冷却系、残留熱除去系) 及び原子炉格納容器下部注水系、代替循環冷却系、残留熱除去系 (格納容器スプレィ冷却モード)、残留熱除去系 (サブプレッシャープール冷却モード) と兼用。
 *3：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (残留熱除去系) 及び原子炉格納容器下部注水系、代替循環冷却系 (格納容器スプレィ冷却モード)、残留熱除去系 (サブプレッシャープール冷却モード) と兼用。
 *4：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (残留熱除去系) と兼用。
 *5：公称値を示す。

印刷時の内容は添付書類の欄から公開できません。
 3-5-1-6

変更なし

02
変更1
R1

記載の適正化
(注記の適正化)

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表 【II 工事計画】

変更前

| 変更前 | | | 変更後 | | | | |
|--|------------|---------------------|-------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------|------|
| 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材 | 料 |
| サブプレッジョンチエンバースプレイ注入配管A系分岐点 原子炉格納容器配管貫通部 (K-32A) | *26 *27 | 3.73 ^{*4} | 186 | 318.5 | (10.3) | STS42 | 変更なし |
| | | 10.40 ^{*5} | 302 | 318.5 | (25.4) | STS42 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| ドライウェルステイスプレイ管A系分岐点 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系A系注入配管合流点 | *29 *30 | 3.73 ^{*4} | 186 | 267.4 267.4 267.4 114.3 | (9.3) (9.3) (9.3) (6.0) | STS410 STS410 | 変更なし |
| | | 10.40 ^{*5} | 302 | 318.5 | (25.4) | STS42 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| ドライウェルステイスプレイ管A系分岐点 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系A系注入配管合流点 | *29 *30 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | 変更なし |
| | | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系A系注入配管合流点 原子炉格納容器配管貫通部 (K-30A) | *31 *32 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | 変更なし |
| | | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| 原子炉格納容器配管貫通部 (K-32A) | *33 *34 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS42 | 変更なし |
| | | 10.40 ^{*5} | 302 | 318.5 | (25.4) | STS42 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| E11-F020A | *35 *36 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | 変更なし |
| | | 10.40 ^{*5} | 302 | 318.5 | (25.4) | STS42 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系A系注入配管合流点 原子炉格納容器配管貫通部 (K-30A) | *37 *38 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | 変更なし |
| | | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| 原子炉格納容器配管貫通部 (K-32A) | *39 *40 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS42 | 変更なし |
| | | 10.40 ^{*5} | 302 | 318.5 | (25.4) | STS42 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| E11-F020A | *41 *42 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | 変更なし |
| | | 10.40 ^{*5} | 302 | 318.5 | (25.4) | STS42 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系A系注入配管合流点 原子炉格納容器配管貫通部 (K-30A) | *43 *44 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | 変更なし |
| | | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |

OS 機務 Ⅱ R I

変更後

| 変更前 | | | 変更後 | | | | |
|--|------------|---------------------|-------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------|------|
| 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材 | 料 |
| サブプレッジョンチエンバースプレイ注入配管A系分岐点 原子炉格納容器配管貫通部 (K-32A) | *26 *27 | 3.73 ^{*4} | 186 | 318.5 | (10.3) | STS42 | 変更なし |
| | | 10.40 ^{*5} | 302 | 318.5 | (25.4) | STS42 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| ドライウェルステイスプレイ管A系分岐点 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系A系注入配管合流点 | *29 *30 | 3.73 ^{*4} | 186 | 267.4 267.4 267.4 114.3 | (9.3) (9.3) (9.3) (6.0) | STS410 STS410 | 変更なし |
| | | 10.40 ^{*5} | 302 | 318.5 | (25.4) | STS42 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| ドライウェルステイスプレイ管A系分岐点 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系A系注入配管合流点 | *29 *30 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | 変更なし |
| | | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系A系注入配管合流点 原子炉格納容器配管貫通部 (K-30A) | *31 *32 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | 変更なし |
| | | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| 原子炉格納容器配管貫通部 (K-32A) | *33 *34 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS42 | 変更なし |
| | | 10.40 ^{*5} | 302 | 318.5 | (25.4) | STS42 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| E11-F020A | *35 *36 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | 変更なし |
| | | 10.40 ^{*5} | 302 | 318.5 | (25.4) | STS42 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系A系注入配管合流点 原子炉格納容器配管貫通部 (K-30A) | *37 *38 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | 変更なし |
| | | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| 原子炉格納容器配管貫通部 (K-32A) | *39 *40 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS42 | 変更なし |
| | | 10.40 ^{*5} | 302 | 318.5 | (25.4) | STS42 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| E11-F020A | *41 *42 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | 変更なし |
| | | 10.40 ^{*5} | 302 | 318.5 | (25.4) | STS42 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |
| 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系A系注入配管合流点 原子炉格納容器配管貫通部 (K-30A) | *43 *44 | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | 変更なし |
| | | 3.73 | 186 | 267.4 | (9.3) | STS410 | |
| 残留熱除去系 | | | | | | | |

OS 機務 Ⅱ R I

備考
記載の適正化
(変更前の「-」および変更後に記載のエ
ルボの削除)

3-5-1-27

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

変更前

| 変更前 | | | | 変更後 | | | |
|-----------|---------------------|--------------|------------|-----------|---------------------|--------------|------------|
| 名 | 称 | 最高使用圧力 (MPa) | 最高使用温度 (℃) | 名 | 称 | 最高使用圧力 (MPa) | 最高使用温度 (℃) |
| 補給水系 | 復水貯蔵タンク E22-F014 | | | 補給水系 | 復水貯蔵タンク E22-F014 | | |
| | E22-F014 | | | | E22-F014 | | |
| 高圧炉心スプレイス | 補給水よりの第一アンカ | | | 高圧炉心スプレイス | 補給水よりの第一アンカ | | |
| | 復水貯蔵タンク出口配管分岐点 | | | | 復水貯蔵タンク出口配管分岐点 | | |
| 低圧代替注水系統 | 復水貯蔵タンク出口配管分岐点 | | | 低圧代替注水系統 | 復水貯蔵タンク出口配管分岐点 | | |
| | 低圧代替注水系統分岐点 | | | | 低圧代替注水系統分岐点 | | |
| 補給水系 | P13-F072 | | | 補給水系 | P13-F072 | | |
| | 補給水系配管合流点 | | | | 補給水系配管合流点 | | |

特記の内容は原簿欄から公開できません。
3-4-5-7

変更後

| 変更前 | | | | 変更後 | | | |
|-----------|---------------------|--------------|------------|-----------|---------------------|--------------|------------|
| 名 | 称 | 最高使用圧力 (MPa) | 最高使用温度 (℃) | 名 | 称 | 最高使用圧力 (MPa) | 最高使用温度 (℃) |
| 補給水系 | 復水貯蔵タンク E22-F014 | | | 補給水系 | 復水貯蔵タンク E22-F014 | | |
| | E22-F014 | | | | E22-F014 | | |
| 高圧炉心スプレイス | 補給水よりの第一アンカ | | | 高圧炉心スプレイス | 補給水よりの第一アンカ | | |
| | 復水貯蔵タンク出口配管分岐点 | | | | 復水貯蔵タンク出口配管分岐点 | | |
| 低圧代替注水系統 | 復水貯蔵タンク出口配管分岐点 | | | 低圧代替注水系統 | 復水貯蔵タンク出口配管分岐点 | | |
| | 低圧代替注水系統分岐点 | | | | 低圧代替注水系統分岐点 | | |
| 補給水系 | P13-F072 | | | 補給水系 | P13-F072 | | |
| | 補給水系配管合流点 | | | | 補給水系配管合流点 | | |

特記の内容は原簿欄から公開できません。
3-4-5-7

備考

記載の適正化
(注記の適正化)

| 変 更 前 | | 変 更 後 | | 備 考 |
|--|----------------------|---|-----------------------|--------------------------------|
| (前頁からの続き) | | (前頁からの続き) | | 記載の適正化 (兼用設備に関する 注記の適正化) |
| 材 料 | 変 更 前 | 変 更 後 | 変 更 後 | |
| 材 | 胴 板 | — | SUS304 | 変 更 な し |
| 底 | 底 板 | — | SUS304 | |
| 側 | 側 マンホール平板 | — | SUS304*4 | |
| 個 | 個 数 | — | 1 | |
| 取 付 箇 所 | 系 統 名 (ラ イ ン 名) | — | 復水貯蔵タンク 補給水系 *2 | |
| | 設 置 床 | — | 屋外 *2 O. P. 9. 50m | |
| | 溢水防護上の区画番号 | — | — | |
| | 溢水防護上の配慮が 必要な高さ | — | — | |
| 注記*1：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高压炉心スプレイ系、高压代替注水系、原子炉隔離時冷却系、低压代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器下部注水系、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系、高压代替注水系、低压代替注水系）と兼用。 | | 注記*1：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（高压炉心スプレイ系、高压代替注水系、原子炉隔離時冷却系、低压代替注水系、 <u>代替水源移送系</u> ）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器下部注水系、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系、高压代替注水系、低压代替注水系）と兼用。 | | |
| *2：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。 | | *2：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。 | | |
| *3：公称値を示す。 | | *3：公称値を示す。 | | |
| *4：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年4月3日付4資庁第1992号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-1-2-1 復水貯蔵タンクの強度計算書」による。 | | *4：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年4月3日付4資庁第1992号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-1-2-1 復水貯蔵タンクの強度計算書」による。 | | |
| 3-7-2-4 | | 3-7-2-4 | | |

O2 © II R1

O2 軽微—II R1

| 変更前 | | | | 変更後 | | | | | | | | | |
|---------|---|-------------|-------------|-----------------------|-----------------------|----------|------|---|-------------|-------------|-----------------------|-----------------------|----|
| 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 ^{*1} (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材料 | 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 ^{*1} (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材料 |
| 補給水系統 | 低圧代替注水系統注入配管分岐点 ~ N21-F000 復水貯蔵タンク | 1.37** | 66 | 216.3 | 8.2 | SPT38 | 変更なし | | | | | | |
| | | | | | 7.1 | SPT38 | | | | | | | |
| | | | | | 7.1 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SPT38 | | | | | | | |
| | | | | | 5.5 | SPT38 | | | | | | | |
| | | | | | 5.5 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 7.1 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 5.5 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 5.5 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 7.6 | SUS304 | | | | | | | |
| 純水移送ポンプ | 復水貯蔵タンク純水入口配管 合流点 ~ 復水貯蔵タンク | 1.18** | 66 | 165.2 | 7.1 | SUS304TP | 変更なし | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SPT38 | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SPT38 | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |

注記*1：外径は公称値を示す。
*2：()内は公称値を示す。
*3：記載の通り化を行う。既工事計画書には「復水貯蔵タンクから高圧中心スプレイ系まで」と記載。
*4：記載の通り化を行う。記載内容は、平成24年10月1日付付4号付第1902号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-1-2-2-1 管の基本取組計算書」による。
*5：工部局に示す。既工事計画書にはエネルギーを含まないため、記載の通り化を行う。
*6：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (高圧炉心スプレイ系、高圧代替注水系統、原子炉隔離時冷却系、高圧代替注水系統、低圧代替注水系統) と兼用。
*7：記載の通り化を行う。既工事計画書には「復水貯蔵タンクから復水移送ポンプ入口配管」まで (復水移送ポンプ入口配管) と記載。
*8：S1単位に換算したものである。
*9：記載の通り化を行う。既工事計画書には「SPT38」と記載。

枠組の内容は添付書類の欄から図様で示す。
3-7-2-7

| 変更前 | | | | 変更後 | | | | | | | | | |
|---------|---|-------------|-------------|-----------------------|-----------------------|----------|------|---|-------------|-------------|-----------------------|-----------------------|----|
| 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 ^{*1} (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材料 | 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 ^{*1} (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材料 |
| 補給水系統 | 低圧代替注水系統注入配管分岐点 ~ N21-F000 復水貯蔵タンク | 1.37** | 66 | 216.3 | 8.2 | SPT38 | 変更なし | | | | | | |
| | | | | | 7.1 | SPT38 | | | | | | | |
| | | | | | 7.1 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SPT38 | | | | | | | |
| | | | | | 5.5 | SPT38 | | | | | | | |
| | | | | | 5.5 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 7.1 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 5.5 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 5.5 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 7.6 | SUS304 | | | | | | | |
| 純水移送ポンプ | 復水貯蔵タンク純水入口配管 合流点 ~ 復水貯蔵タンク | 1.18** | 66 | 165.2 | 7.1 | SUS304TP | 変更なし | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SPT38 | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SPT38 | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | | 6.0 | SUS304TP | | | | | | | |

注記*1：外径は公称値を示す。
*2：()内は公称値を示す。
*3：記載の通り化を行う。既工事計画書には「復水貯蔵タンクから高圧中心スプレイ系まで」と記載。
*4：記載の通り化を行う。記載内容は、平成24年10月1日付付4号付第1902号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-1-2-2-1 管の基本取組計算書」による。
*5：工部局に示す。既工事計画書にはエネルギーを含まないため、記載の通り化を行う。
*6：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (高圧炉心スプレイ系、高圧代替注水系統、原子炉隔離時冷却系、高圧代替注水系統、低圧代替注水系統) と兼用。
*7：記載の通り化を行う。既工事計画書には「復水貯蔵タンクから復水移送ポンプ入口配管」まで (復水移送ポンプ入口配管) と記載。
*8：S1単位に換算したものである。
*9：記載の通り化を行う。既工事計画書には「SPT38」と記載。

枠組の内容は添付書類の欄から図様で示す。
3-7-2-7

備考
記載の適正化 (厚さに関する注記の適正化)

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
 【II 工事計画】

| 変 更 前 | 変 更 後 | 備 考 |
|--|--|---|
| <p style="text-align: center;">O 2 ◎ II RO</p> <p>*10：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器下部注水系、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系、低圧代替注水系）と兼用する場合は記載事項。 *11：エールボを示す。 *12：エールボを示す。 *13：本設備は既存の設備である。 *14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水移送ポンプから復水器へ」と記載。 *15：記載の適正化を行う。本設備は設計基準対応施設として工事計画書の記載範囲外である。 *16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水移送ポンプ入口配管から制御機駆動水圧系まで」と記載。 *17：記載の適正化を行う。既工事計画書には「機器ドレン系から復水貯蔵タンクまで」と記載。 *18：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。 *19：記載の適正化を行う。既工事計画書には「純水移送ポンプより復水貯蔵タンクまで」と記載。</p> <p style="text-align: right;">3-7-2-8</p> | <p style="text-align: center;">O 2 軽変一 II RO</p> <p>*10：非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備（低圧代替注水系）及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（原子炉格納容器下部注水系、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系、低圧代替注水系）と兼用する場合は記載事項。 *11：重大事故等クランクス2配置に使用する場合の記載事項。 *12：エールボを示す。 *13：本設備は既存の設備である。 *14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水移送ポンプから復水器へ」と記載。 *15：記載の適正化を行う。本設備は設計基準対応施設として工事計画書の記載範囲外である。 *16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水移送ポンプ入口配管から制御機駆動水圧系まで」と記載。 *17：記載の適正化を行う。既工事計画書には「機器ドレン系から復水貯蔵タンクまで」と記載。 *18：記載の適正化を行う。既工事計画書には「純水移送ポンプより復水貯蔵タンクまで」と記載。</p> <p style="text-align: right;">3-7-2-8</p> | <p>記載の適正化 （厚さに関する注記 の適正化）</p> |

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

変更前

変更後

備考

| 変更前 | | | | 変更後 | | | | |
|---|---|----------------------------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|--------|-------|------|
| 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 ^{*1} (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材 | 料 | |
| 原子炉冷却材浄化系 | 原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 機器連絡管(側面) | 10.20 ^{*1} | 66 | 139.8 | (12.7) | STS42 | 変更なし | |
| | | 10.20 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | | |
| | 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 ～ G31-F022 | 10.20 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | 変更なし | |
| | | 10.20 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | | |
| | 原子炉冷却材浄化系 | G31-F022 ～ 高圧代替注水系統注入配管合流点 | 8.62 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | 変更なし |
| | | | 8.62 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | |
| | | | 8.62 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | |
| | | | 8.62 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | |
| | | | 8.62 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | |
| | | | 8.62 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | |
| 高圧代替注水系統注入配管合流点 ～ 原子炉冷却材浄化系系注入配管合流点 | 8.62 ^{*1} | 302 | 165.2 | (14.3) | STS410 ^{**} | 変更なし | | |
| | 8.62 ^{*1} | 302 | 165.2 | (14.3) | STS410 ^{**} | | | |
| 高圧代替注水系統注入配管合流点 ～ 原子炉冷却材浄化系系注入配管合流点 | 8.62 | 302 | 165.2 | (14.3) | STS410 | 変更なし | | |
| | 8.62 | 302 | 165.2 | (14.3) | STS410 | | | |

図中の寸法は標準公差の範囲から公称値とします。
3-9-1-4

| 変更前 | | | | 変更後 | | | | |
|---|---|----------------------------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|-------|------|
| 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 ^{*1} (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材 | 料 | |
| 原子炉冷却材浄化系 | 原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 機器連絡管(側面) | 10.20 ^{*1} | 66 | 139.8 | (12.7) | STS42 STS410 | 変更なし | |
| | | 10.20 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | | |
| | 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 ～ G31-F022 | 10.20 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | 変更なし | |
| | | 10.20 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | | |
| | 原子炉冷却材浄化系 | G31-F022 ～ 高圧代替注水系統注入配管合流点 | 8.62 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | 変更なし |
| | | | 8.62 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | |
| | | | 8.62 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | |
| | | | 8.62 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | |
| | | | 8.62 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | |
| | | | 8.62 ^{*1} | 302 | 216.3 | (18.2) | STS42 | |
| 高圧代替注水系統注入配管合流点 ～ 原子炉冷却材浄化系系注入配管合流点 | 8.62 ^{*1} | 302 | 165.2 | (14.3) | STS410 ^{**} | 変更なし | | |
| | 8.62 ^{*1} | 302 | 165.2 | (14.3) | STS410 ^{**} | | | |
| 高圧代替注水系統注入配管合流点 ～ 原子炉冷却材浄化系系注入配管合流点 | 8.62 | 302 | 165.2 | (14.3) | STS410 | 変更なし | | |
| | 8.62 | 302 | 165.2 | (14.3) | STS410 | | | |

図中の寸法は標準公差の範囲から公称値とします。
3-9-1-4

記載の適正化
(J I S表記の適正化)

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

変更前

変更後

備考

| 変更前 | | 変更後 | |
|---|---|--------------|-------------|
| 名 | 称 | 最大使用圧力 (MPa) | 最大使用温度 (°C) |
| 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(順側)出口配管分岐点 ～ 原子炉隔離時冷却系注入配管 合流点 | *3 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(順側)出口配管分岐点 ～ 原子炉隔離時冷却系注入配管 合流点 | 216.3 (18.2) | 302 |
| | | 165.2 (14.3) | |
| 原子炉隔離時冷却系注入配管 合流点 ～ 原子炉冷却材浄化系配管合流点 | *9 原子炉隔離時冷却系注入配管 合流点 ～ 原子炉冷却材浄化系配管合流点 | 165.2 (14.3) | 302 |
| | | 114.3 (11.1) | |
| 原子炉冷却材浄化系 | | 165.2 (14.3) | 302 |

注記*1：外径は公称値を示す。
*2：()内は公称値を示す。
*3：記載の通り化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器から原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口配管まで」と記載。
*4：S1単位に換算したものである。
*5：記載の通り化を行う。既工事計画書には「SIS42」と記載。
*6：エールボを示す。既工事計画書にはエールボを含めた呼称を記載しているため、記載の通り化を行う。記載内容は、平成26年6月19日付け3実行第1003号にて認可された工事計画の添付書類「W-2-1-2-4-1 管の基本据野計算書」による。
*7：既工事計画書に記載がないため記載の通り化を行う。記載内容は、「原子炉再循環系から原子炉冷却材浄化系再生熱交換器まで(原子炉隔離時冷却系から復水給水系まで)」と記載。
*8：記載の通り化を行う。既工事計画書には「原子炉再循環系から原子炉冷却材浄化系再生熱交換器及び原子炉隔離時冷却系から復水給水系まで」と記載。
*9：非常用炉心冷却設備その他原子炉圧水設備(高圧代替注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(高圧代替注水系)と兼用。
*10：非常用炉心冷却設備その他原子炉圧水設備(原子炉隔離時冷却系)と兼用。
*11：非常用炉心冷却設備その他原子炉圧水設備(原子炉隔離時冷却系)と兼用。

RI
II
◎
OS

図面及び内容は本欄記載の属する図面を参照してください。
3-9-1-5

| 変更前 | | 変更後 | |
|---|---|--------------|-------------|
| 名 | 称 | 最大使用圧力 (MPa) | 最大使用温度 (°C) |
| 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(順側)出口配管分岐点 ～ 原子炉隔離時冷却系注入配管 合流点 | *3 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(順側)出口配管分岐点 ～ 原子炉隔離時冷却系注入配管 合流点 | 216.3 (18.2) | 302 |
| | | 165.2 (14.3) | |
| 原子炉隔離時冷却系注入配管 合流点 ～ 原子炉冷却材浄化系配管合流点 | *9 原子炉隔離時冷却系注入配管 合流点 ～ 原子炉冷却材浄化系配管合流点 | 165.2 (14.3) | 302 |
| | | 114.3 (11.1) | |
| 原子炉冷却材浄化系 | | 165.2 (14.3) | 302 |

注記*1：外径は公称値を示す。
*2：()内は公称値を示す。
*3：記載の通り化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器から原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口配管まで」と記載。
*4：S1単位に換算したものである。
*5：記載の通り化を行う。既工事計画書には「SIS42」と記載。
*6：エールボを示す。既工事計画書にはエールボを含めた呼称を記載しているため、記載の通り化を行う。記載内容は、平成26年6月19日付け3実行第1003号にて認可された工事計画の添付書類「W-2-1-2-4-1 管の基本据野計算書」による。
*7：既工事計画書に記載がないため記載の通り化を行う。記載内容は、「原子炉再循環系から原子炉冷却材浄化系再生熱交換器まで(原子炉隔離時冷却系から復水給水系まで)」と記載。
*8：記載の通り化を行う。既工事計画書には「原子炉再循環系から原子炉冷却材浄化系再生熱交換器及び原子炉隔離時冷却系から復水給水系まで」と記載。
*9：非常用炉心冷却設備その他原子炉圧水設備(高圧代替注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(高圧代替注水系)と兼用。
*10：非常用炉心冷却設備その他原子炉圧水設備(原子炉隔離時冷却系)と兼用。
*11：非常用炉心冷却設備その他原子炉圧水設備(原子炉隔離時冷却系)と兼用。

RI
II
◎
OS

図面及び内容は本欄記載の属する図面を参照してください。
3-9-1-5

記載の適正化
(材料のJIS表記の適正化、関連する記載の適正化)

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

変更前

変更後

備考

| 名 称 | | 変更前 | 変更後 | |
|-----------------------------|---------------------|----------|----------------------------------|--|
| 種 類 | — | スクラム排出容器 | | |
| 容 量 | L/個 | 112*1 | | |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 8.62*2 | | |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 138 | | |
| 主 要 寸 法 | 胴 外 径 | mm | 318.5*1 | |
| | 胴 板 厚 さ | mm | □*3(25.4*1) | |
| | 円 す い 胴 小 径 端 内 径 | mm | 179.9*1,*3 | |
| | 円 す い 胴 板 厚 さ | mm | □*3(18.2*1) | |
| | 鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法 | mm | 267.7*1,*3 (鏡板の内面における長径) | |
| | | | 66.93*1,*3 (鏡板の内面における短径の2分の1) | |
| | 鏡 板 厚 さ | mm | □*3(25.4*1) | |
| | 出 口 管 台 外 径 | mm | 91.0*1,*3 | |
| | 出 口 管 台 厚 さ | mm | □*3(23.95*1,*3) | |
| | 水 位 計 管 台 外 径 | mm | 59.0*1,*3 | |
| | 水 位 計 管 台 厚 さ | mm | □*3(18.9*1,*3) | |
| | 高 さ*4 | mm | 2100*1,*5 | |
| 材 料 | 胴 板 | — | STS42 | |
| | 円 す い 胴 板 | — | STS42 | |
| | 鏡 板 | — | STS42 | |
| 個 数 | — | 2 | | |
| 取 付 箇 所 | 系 統 名 (ラ イ ン 名) | — | スクラム排出容器*6 制御棒駆動水圧ライン | |
| | 設 置 床 | — | 原子炉建屋 O.P.6.00m | |
| | 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 | — | — | |
| 溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ | — | — | — | |

注記*1：公称値を示す。
*2：SI単位に換算したものである。
*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付3資庁第10518号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-3-1-2-2 スクラム排出容器の強度計算書」による。
*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。
*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2166」と記載。
*6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

4-3-2-1-3

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

| 名 称 | | 変更前 | 変更後 | |
|-----------------------------|---------------------|----------|----------------------------------|--|
| 種 類 | — | スクラム排出容器 | | |
| 容 量 | L/個 | 112*1 | | |
| 最 高 使 用 圧 力 | MPa | 8.62*2 | | |
| 最 高 使 用 温 度 | ℃ | 138 | | |
| 主 要 寸 法 | 胴 外 径 | mm | 318.5*1 | |
| | 胴 板 厚 さ | mm | □*3(25.4*1) | |
| | 円 す い 胴 小 径 端 内 径 | mm | 179.9*1,*3 | |
| | 円 す い 胴 板 厚 さ | mm | □*3(18.2*1) | |
| | 鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法 | mm | 267.7*1,*3 (鏡板の内面における長径) | |
| | | | 66.93*1,*3 (鏡板の内面における短径の2分の1) | |
| | 鏡 板 厚 さ | mm | □*3(25.4*1) | |
| | 出 口 管 台 外 径 | mm | 91.0*1,*3 | |
| | 出 口 管 台 厚 さ | mm | □*3(23.95*1,*3) | |
| | 水 位 計 管 台 外 径 | mm | 59.0*1,*3 | |
| | 水 位 計 管 台 厚 さ | mm | □*3(18.9*1,*3) | |
| | 高 さ*4 | mm | 2100*1,*5 | |
| 材 料 | 胴 板 | — | STS410*6 | |
| | 円 す い 胴 板 | — | STS42 | |
| | 鏡 板 | — | STS42 | |
| 個 数 | — | 2 | | |
| 取 付 箇 所 | 系 統 名 (ラ イ ン 名) | — | スクラム排出容器*7 制御棒駆動水圧ライン | |
| | 設 置 床 | — | 原子炉建屋 O.P.6.00m | |
| | 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 | — | — | |
| 溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ | — | — | — | |

注記*1：公称値を示す。
*2：SI単位に換算したものである。
*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付3資庁第10518号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-3-1-2-2 スクラム排出容器の強度計算書」による。
*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。
*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「2166」と記載。
*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。
*7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

4-3-2-1-3

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

記載の適正化
(材料のJIS表記の適正化、関連する注記の追加)

O2 ⑥ II R1

O2 ⑥ II R1

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

変更前

| 変更前 | | | | 変更後 | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|--------------------|-------------|---------|-------------------------|----------|---|---|-------------|-------------|---------|-----------------------|----|
| 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材料 | 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材料 |
| 排ガス真空ポンプ ～ 排ガス循環水タンク | | 0.11 ^{*4} | 66 | 76.3 | (5.2) | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | 89.1 | (5.5) | SUS304TP | | | | | | | |
| 排ガス循環水タンク | | 0.11 ^{*4} | 66 | 114.3 | (8.6) | SPT42 | | | | | | | |
| | | | | 89.1 | (7.6) | SPT42 | | | | | | | |
| 排ガス循環水タンク | | 0.35 ^{*4} | 94 | 89.1 | (7.6) | SPT42 | | | | | | | |
| | | | | 89.1 | (7.6) | SPT38 | | | | | | | |
| 排ガス循環水タンク出口配管 分岐点 | | 0.11 ^{*4} | 66 | 609.6 | 8.5 ^{*1} (9.5) | SM4B | | | | | | | |
| | | | | 267.4 | (9.2) | SPT38 | | | | | | | |
| 排ガス循環水タンク出口配管 分岐点 | | 0.35 ^{*4} | 94 | 609.6 | 8.5 ^{*1} (9.5) | SM4B | | | | | | | |
| | | | | 267.4 | (9.2) | SPT38 | | | | | | | |

※1：()内は公称値を示す。

※2：()内は公称値を示す。

※3：記載の通り化を行う。既工事計画書には「復水器空気抽出系から排ガス循環器まで」と記載。

※4：S I単位に換算したものである。

※5：記載の通り化を行う。既工事計画書には「排ガス脱子フィルタから真空ポンプまで（排ガス脱子フィルタ出口配管）」と記載。

※6：記載の通り化を行う。既工事計画書には「排ガス循環水タンクから排ガス循環水タンク出口配管まで（排ガス循環水タンク出口配管）」と記載。

※7：既工事計画書に記載がないため記載の通り化を行う。記載内容は、平成21年1月24日付け発行第00151号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-2-10 管の強度計算書」による。

※8：記載の通り化を行う。既工事計画書には「排ガス循環水タンク出口配管から排ガス脱子フィルタ出口配管まで」と記載。

※9：記載の通り化を行う。既工事計画書には「タービンランダウン蒸気系から排ガス循環水タンク出口配管まで」と記載。

OR
II
RO

5-2-1-2

変更後

| 変更前 | | | | 変更後 | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|--------------------|-------------|---------|-------------------------|----------|---|---|-------------|-------------|---------|-----------------------|----|
| 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材料 | 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ ^{*2} (mm) | 材料 |
| 排ガス真空ポンプ ～ 排ガス循環水タンク | | 0.11 ^{*4} | 66 | 76.3 | (5.2) | SUS304TP | | | | | | | |
| | | | | 89.1 | (5.5) | SUS304TP | | | | | | | |
| 排ガス循環水タンク | | 0.11 ^{*4} | 66 | 114.3 | (8.6) | SPT42 | | | | | | | |
| | | | | 89.1 | (7.6) | SPT42 | | | | | | | |
| 排ガス循環水タンク | | 0.35 ^{*4} | 94 | 89.1 | (7.6) | SPT42 | | | | | | | |
| | | | | 89.1 | (7.6) | SPT38 | | | | | | | |
| 排ガス循環水タンク出口配管 分岐点 | | 0.11 ^{*4} | 66 | 609.6 | 8.5 ^{*1} (9.5) | SM4B | | | | | | | |
| | | | | 267.4 | (9.3) | SPT38 | | | | | | | |
| 排ガス循環水タンク出口配管 分岐点 | | 0.35 ^{*4} | 94 | 609.6 | 8.5 ^{*1} (9.5) | SM4B | | | | | | | |
| | | | | 267.4 | (9.3) | SPT38 | | | | | | | |

※1：()内は公称値を示す。

※2：()内は公称値を示す。

※3：記載の通り化を行う。既工事計画書には「復水器空気抽出系から排ガス循環器まで」と記載。

※4：S I単位に換算したものである。

※5：記載の通り化を行う。既工事計画書には「排ガス脱子フィルタから真空ポンプまで（排ガス脱子フィルタ出口配管）」と記載。

※6：記載の通り化を行う。既工事計画書には「排ガス循環水タンクから排ガス循環水タンク出口配管まで（排ガス循環水タンク出口配管）」と記載。

※7：既工事計画書に記載がないため記載の通り化を行う。記載内容は、平成21年1月24日付け発行第00151号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-1-2-10 管の強度計算書」による。

※8：記載の通り化を行う。既工事計画書には「排ガス循環水タンク出口配管から排ガス脱子フィルタ出口配管まで」と記載。

※9：記載の通り化を行う。既工事計画書には「タービンランダウン蒸気系から排ガス循環水タンク出口配管まで」と記載。

OR
II
RO

5-2-1-2

備考

記載の適正化
(厚さの注記の適正化)

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

変更前

(4)中央制御室蔵

| 名 種 | 変更前 | | 変更後 | |
|----------------------------|--------------------------|------------|---|------------|
| | 主 要 寸 寸 (最小厚さmm*1、*2、*3) | 法 法 (冷却方法) | 主 要 寸 寸 (最小厚さmm*3) | 法 法 (冷却方法) |
| 中央制御室 しきへい蔵 制御 建屋 | 地上3階 0.F.23500 | 自然冷却 | 普通コンクリート (密度2.15g/cm ³ 以上*) | 変更なし |
| 中央制御室 待機所蔵 | 地上3階 0.F.23500 | 自然冷却 | 普通コンクリート (密度2.15g/cm ³ 以上*) | 自然冷却 |
| 中央制御室 待機所蔵 | 地上3階 0.F.23500 | 自然冷却 | 普通コンクリート (密度2.15g/cm ³ 以上*) | 変更なし |

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書の「m」を「mm」と記載する。
*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。
*3：主要寸法欄は（ ）内に公称値を示す。

| 名 種 | 変更前 | | 変更後 | |
|---------------|-------------------|------------|--|------------|
| | 主 要 寸 寸 (最小厚さmm) | 法 法 (冷却方法) | 主 要 寸 寸 (最小厚さmm*) | 法 法 (冷却方法) |
| 中央制御室 待機所蔵 | 地上3階 0.F.23500 | - | 普通コンクリート (密度2.15g/cm ³ 以上) | 自然冷却 |

注記*：主要寸法欄は（ ）内に公称値を示す。

内閣からの内容は建築師の職日から公開できません。
6-3-4

変更後

(4)中央制御室蔵

| 名 種 | 変更前 | | 変更後 | |
|----------------------------|--------------------------|------------|---|------------|
| | 主 要 寸 寸 (最小厚さmm*1、*2、*3) | 法 法 (冷却方法) | 主 要 寸 寸 (最小厚さmm*3) | 法 法 (冷却方法) |
| 中央制御室 しきへい蔵 制御 建屋 | 地上3階 0.F.23500 | 自然冷却 | 普通コンクリート (密度2.15g/cm ³ 以上*) | 変更なし |
| 中央制御室 待機所蔵 | 地上3階 0.F.23500 | 自然冷却 | 普通コンクリート (密度2.15g/cm ³ 以上*) | 自然冷却 |
| 中央制御室 待機所蔵 | 地上3階 0.F.23500 | 自然冷却 | 普通コンクリート (密度2.15g/cm ³ 以上*) | 変更なし |

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書の「m」を「mm」と記載する。
*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。
*3：主要寸法欄は（ ）内に公称値を示す。

| 名 種 | 変更前 | | 変更後 | |
|---------------|-------------------|------------|--|------------|
| | 主 要 寸 寸 (最小厚さmm) | 法 法 (冷却方法) | 主 要 寸 寸 (最小厚さmm*) | 法 法 (冷却方法) |
| 中央制御室 待機所蔵 | 地上3階 0.F.23500 | - | 普通コンクリート (密度2.15g/cm ³ 以上) | 自然冷却 |

注記*：主要寸法欄は（ ）内に公称値を示す。

内閣からの内容は建築師の職日から公開できません。
6-3-4

備考

記載の適正化
(公称値の適正化)

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

| 変 更 前 | 変 更 後 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------|---|------------------------------|---------------|-----------------------|--|--------------------------|--|-----|---|-----------------------------------|--|-----------|-------|---|--|---------|---------|---|------------------------------|-----|---|---------------|---------|-----|----|---------------|-----|----|---------------|-----|----|---------------|-----|----|---------------|-----|---|--------------|--|-----|---|---|--|--|-----|--|-------|-------|-----------------------|--|--------------------------|--|-----|---|-----------------------------------|--|-----------|-------|---|--|---------|---------|---|------------------------------|-----|---|---------------|---------|-----|----|---------------|-----|----|---------------|-----|----|---------------|-----|----|---------------|-----|---|--------------|--|-----|---|---|--|---|
| <p>7.2 原子炉建屋 (1) 原子炉建屋原子炉棟</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">名 称</th> <th style="text-align: center;">変 更 前</th> <th style="text-align: center;">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">原子炉建屋原子炉棟 (二次格納施設)</td> <td colspan="2">原子炉建屋原子炉棟 (二次格納施設) *1</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造)</td> </tr> <tr> <td>設 計 気 密 度</td> <td style="text-align: center;">%/d*2</td> <td colspan="2">50 以下 (6.4 mm Aq の負圧における原子炉建屋原子炉棟容積に対する空気漏えい率)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主 要 寸 法</td> <td>た て × 横</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">66.0×53.0*3 (地下3階面、壁外面寸法)</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">地上35.7、地下28.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">壁 厚 寸 法</td> <td>東 壁</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">250~1800*3、*4</td> </tr> <tr> <td>西 壁</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">250~1800*3、*4</td> </tr> <tr> <td>南 壁</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">250~1800*3、*4</td> </tr> <tr> <td>北 壁</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">250~1800*3、*4</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート及び鋼材</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注：記載の適正化を行う。既工事計画書の「主要寸法（基礎版厚さ）」の記載を削除。 注記*1：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系、原子炉建屋水素濃度抑制系）と兼用。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「%/day」と記載。 *3：公称値を示す。 *4：既工事計画書には記載がないため記載の適正化を行う。</p> | 名 称 | | 変 更 前 | 変 更 後 | 原子炉建屋原子炉棟 (二次格納施設) | | 原子炉建屋原子炉棟 (二次格納施設) *1 | | 種 類 | — | 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造) | | 設 計 気 密 度 | %/d*2 | 50 以下 (6.4 mm Aq の負圧における原子炉建屋原子炉棟容積に対する空気漏えい率) | | 主 要 寸 法 | た て × 横 | m | 66.0×53.0*3 (地下3階面、壁外面寸法) | 高 さ | m | 地上35.7、地下28.9 | 壁 厚 寸 法 | 東 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | 西 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | 南 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | 北 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | 材 料 | — | 鉄筋コンクリート及び鋼材 | | 個 数 | — | 1 | | <p>7.2 原子炉建屋 (1) 原子炉建屋原子炉棟</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">名 称</th> <th style="text-align: center;">変 更 前</th> <th style="text-align: center;">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">原子炉建屋原子炉棟 (二次格納施設)</td> <td colspan="2">原子炉建屋原子炉棟 (二次格納施設) *1</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造)</td> </tr> <tr> <td>設 計 気 密 度</td> <td style="text-align: center;">%/d*2</td> <td colspan="2">50 以下 (6.4 mm Aq の負圧における原子炉建屋原子炉棟容積に対する空気漏えい率)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主 要 寸 法</td> <td>た て × 横</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">66.0×53.0*3 (地下3階面、壁外面寸法)</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">地上35.7、地下28.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">壁 厚 寸 法</td> <td>東 壁</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">250~1800*3、*4</td> </tr> <tr> <td>西 壁</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">250~1800*3、*4</td> </tr> <tr> <td>南 壁</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">250~1800*3、*4</td> </tr> <tr> <td>北 壁</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">250~1800*3、*4</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート及び鋼材</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注：記載の適正化を行う。既工事計画書の「主要寸法（基礎版厚さ）」の記載を削除。 注記*1：圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系、原子炉建屋水素濃度抑制系）と兼用。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「%/day」と記載。 *3：公称値を示す。 *4：既工事計画書には記載がないため記載の適正化を行う。</p> | 名 称 | | 変 更 前 | 変 更 後 | 原子炉建屋原子炉棟 (二次格納施設) | | 原子炉建屋原子炉棟 (二次格納施設) *1 | | 種 類 | — | 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造) | | 設 計 気 密 度 | %/d*2 | 50 以下 (6.4 mm Aq の負圧における原子炉建屋原子炉棟容積に対する空気漏えい率) | | 主 要 寸 法 | た て × 横 | m | 66.0×53.0*3 (地下3階面、壁外面寸法) | 高 さ | m | 地上35.7、地下28.9 | 壁 厚 寸 法 | 東 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | 西 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | 南 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | 北 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | 材 料 | — | 鉄筋コンクリート及び鋼材 | | 個 数 | — | 1 | | <p>記載の適正化 (兼用設備に関する 注記の適正化)</p> |
| 名 称 | | 変 更 前 | 変 更 後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉建屋原子炉棟 (二次格納施設) | | 原子炉建屋原子炉棟 (二次格納施設) *1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 類 | — | 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設 計 気 密 度 | %/d*2 | 50 以下 (6.4 mm Aq の負圧における原子炉建屋原子炉棟容積に対する空気漏えい率) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主 要 寸 法 | た て × 横 | m | 66.0×53.0*3 (地下3階面、壁外面寸法) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高 さ | m | 地上35.7、地下28.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 壁 厚 寸 法 | 東 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 西 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 南 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北 壁 | | mm | 250~1800*3、*4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材 料 | — | 鉄筋コンクリート及び鋼材 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個 数 | — | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名 称 | | 変 更 前 | 変 更 後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉建屋原子炉棟 (二次格納施設) | | 原子炉建屋原子炉棟 (二次格納施設) *1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 類 | — | 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設 計 気 密 度 | %/d*2 | 50 以下 (6.4 mm Aq の負圧における原子炉建屋原子炉棟容積に対する空気漏えい率) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主 要 寸 法 | た て × 横 | m | 66.0×53.0*3 (地下3階面、壁外面寸法) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高 さ | m | 地上35.7、地下28.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 壁 厚 寸 法 | 東 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 西 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 南 壁 | mm | 250~1800*3、*4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北 壁 | | mm | 250~1800*3、*4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材 料 | — | 鉄筋コンクリート及び鋼材 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個 数 | — | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| O 2 軽 微 変 更 一 二 R O | O 2 軽 微 変 更 一 二 R O | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7-2-1 | 7-2-1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

変更前

変更後

備考

記載の適正化
(兼用設備に関する
注記の適正化)

(2) 機器搬出入口

| | | | 変更前 | 変更後 |
|--------|--------------------|----|----------------|-----------------------|
| 名称 | | | 原子炉建屋大物搬入口*1 | 原子炉建屋大物搬入口*2,*3 |
| 主要寸法 | たて×横 | mm | 5400×5500*4,*5 | 変更なし |
| | 扉体*6 | たて | — | 6230*5 |
| | | 横 | — | 6920*5 |
| 個数 | — | 1 | 変更なし | |
| 種類 | — | — | 片開き扉 | |
| 材料*6 | 扉板 | — | — | SS400 |
| | 芯材 | — | — | SM490 |
| 取付箇所*6 | 系統名 (ライン名) | — | — | — |
| | 設置床 | m | — | 原子炉建屋 0. P. 15. 00 |
| | 溢水防護上の 区画番号 | — | — | — |
| | 溢水防護上の 配慮が必要な高さ | — | — | — |

- 注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 *2 : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(非常用ガス処理系、原子炉建屋水素濃度抑制系)と兼用。
 *3 : 浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用する。
 *4 : 躯体開口寸法を示す。
 *5 : 公称値を示す。
 *6 : 浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に使用する場合の事項を記載。

(2) 機器搬出入口

| | | | 変更前 | 変更後 |
|--------|--------------------|----|----------------|-----------------------|
| 名称 | | | 原子炉建屋大物搬入口*1 | 原子炉建屋大物搬入口*2,*3 |
| 主要寸法 | たて×横 | mm | 5400×5500*4,*5 | 変更なし |
| | 扉体*6 | たて | — | 6230*5 |
| | | 横 | — | 6920*5 |
| 個数 | — | 1 | 変更なし | |
| 種類 | — | — | 片開き扉 | |
| 材料*6 | 扉板 | — | — | SS400 |
| | 芯材 | — | — | SM490 |
| 取付箇所*6 | 系統名 (ライン名) | — | — | — |
| | 設置床 | m | — | 原子炉建屋 0. P. 15. 00 |
| | 溢水防護上の 区画番号 | — | — | — |
| | 溢水防護上の 配慮が必要な高さ | — | — | — |

- 注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
 *2 : 圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(非常用ガス処理系、原子炉建屋水素濃度抑制系)と兼用。
 *3 : 浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用する。
 *4 : 躯体開口寸法を示す。
 *5 : 公称値を示す。
 *6 : 浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に使用する場合の事項を記載。

【II 工事計画】

| 変 更 前 | 変 更 後 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------|-----|--|--------------|-------|-----|--|--|--------------|--------------|------------------|------|----|--|------|-----|---|---|---|--|--|--|-------|-------|-----|--|--|--------------|--------------|------------------|------|----|--|------|-----|---|---|------------------------------------|
| <p>(3)エアロック</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="text-align: center;">変 更 前</th> <th style="text-align: center;">変 更 後</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">名 称</th> <td style="text-align: center;">原子炉建屋エアロック*1</td> <td style="text-align: center;">原子炉建屋エアロック*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主 要 寸 法</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">たて×横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">*3, *4 2000×1000 (外側) 2000×1000 (内側)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">個 数</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </thead> </table> <p>注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系、原子炉建屋水素濃度抑制系）と兼用。 *3：躯体開口寸法を示す。 *4：公称値を示す。</p> | | | | 変 更 前 | 変 更 後 | 名 称 | | | 原子炉建屋エアロック*1 | 原子炉建屋エアロック*2 | 主 要 寸 法 | たて×横 | mm | *3, *4 2000×1000 (外側) 2000×1000 (内側) | 変更なし | 個 数 | - | 2 | <p>(3)エアロック</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="text-align: center;">変 更 前</th> <th style="text-align: center;">変 更 後</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">名 称</th> <td style="text-align: center;">原子炉建屋エアロック*1</td> <td style="text-align: center;">原子炉建屋エアロック*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">主 要 寸 法</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">たて×横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">*3, *4 2000×1000 (外側) 2000×1000 (内側)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">個 数</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </thead> </table> <p>注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2：圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系、原子炉建屋水素濃度抑制系）と兼用。 *3：躯体開口寸法を示す。 *4：公称値を示す。</p> | | | | 変 更 前 | 変 更 後 | 名 称 | | | 原子炉建屋エアロック*1 | 原子炉建屋エアロック*2 | 主 要 寸 法 | たて×横 | mm | *3, *4 2000×1000 (外側) 2000×1000 (内側) | 変更なし | 個 数 | - | 2 | <p>記載の適正化 (兼用設備に関する注記の適正化)</p> |
| | | | 変 更 前 | 変 更 後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名 称 | | | 原子炉建屋エアロック*1 | 原子炉建屋エアロック*2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主 要 寸 法 | たて×横 | mm | *3, *4 2000×1000 (外側) 2000×1000 (内側) | 変更なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 個 数 | - | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 変 更 前 | 変 更 後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名 称 | | | 原子炉建屋エアロック*1 | 原子炉建屋エアロック*2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主 要 寸 法 | たて×横 | mm | *3, *4 2000×1000 (外側) 2000×1000 (内側) | 変更なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 個 数 | - | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

変更前

変更後

備考

(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環系
a 非常用ガス処理系
b 加熱器 (常設)

| 変更前 | | 変更後 | |
|----------------|--------------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 名称 | 非常用ガス処理系空気乾燥装置*1 | | |
| 容量 | 電気式*2 以上*(2500 m ³ /h) | | |
| 最高使用圧力 | 13.7*3, *4 | | |
| 最高使用温度 | 140*1 | | |
| 吸込外径 | 318.5*1, *3 | | |
| 吐出外径 | 318.5*1, *3 | | |
| 吸込厚さ | 6.0*(7.0*1, *3) | | |
| 吐出厚さ | 6.0*(7.0*1, *3) | | |
| たて | 1300*1, *3 | | |
| 高さ | 3740*1, *3 | | |
| 材質 | SUS304*1 | | |
| 個数 | 2*2 | | |
| 系統(ライオン名) | 非常用ガス処理系空気乾燥装置(A)*2 非常用ガス処理系B)*2 | | |
| 設置位置 | 原子炉建屋*2 非常用ガス処理系 O.P.22.50m | | |
| 防水防護上の区画番号 | | | |
| 防水防護上の配置が必要な高さ | | | |
| 設置場所 | | R-2P-1-2 床上0.09m以上 | R-2P-1-3 床上0.10m以上 |

変更なし

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書では主配管に記載。
*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図集による。
*3：公称値を示す。
*4：S1単位に換算したものである。
*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付け第10518号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-5-1-1 管の強度計算書」による。

特記の内容は添付書類の観点から公開できません。

7-3-(7)-a-1

(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
a 非常用ガス処理系
b 加熱器 (常設)

| 変更前 | | 変更後 | |
|----------------|--------------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 名称 | 非常用ガス処理系空気乾燥装置*1 | | |
| 容量 | 電気式*2 以上*(2500 m ³ /h) | | |
| 最高使用圧力 | 13.7*3, *4 | | |
| 最高使用温度 | 140*1 | | |
| 吸込外径 | 318.5*1, *3 | | |
| 吐出外径 | 318.5*1, *3 | | |
| 吸込厚さ | 6.0*(7.0*1, *3) | | |
| 吐出厚さ | 6.0*(7.0*1, *3) | | |
| たて | 1300*1, *3 | | |
| 高さ | 3740*1, *3 | | |
| 材質 | SUS304*1 | | |
| 個数 | 2*2 | | |
| 系統(ライオン名) | 非常用ガス処理系空気乾燥装置(A)*2 非常用ガス処理系B)*2 | | |
| 設置位置 | 原子炉建屋*2 非常用ガス処理系 O.P.22.50m | | |
| 防水防護上の区画番号 | | | |
| 防水防護上の配置が必要な高さ | | | |
| 設置場所 | | R-2P-1-2 床上0.09m以上 | R-2P-1-3 床上0.10m以上 |

変更なし

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書では主配管に記載。
*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図集による。
*3：公称値を示す。
*4：S1単位に換算したものである。
*5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年1月13日付け第10518号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-5-1-1 管の強度計算書」による。

特記の内容は添付書類の観点から公開できません。

7-3-(7)-a-1

記載の適正化
(設備名称の適正化)

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

| 変更前 | | | | | | | | | | 変更後 | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|----|----|------|--------|--------|-------------|-------------|-----------|-----------|----------|----|-----------------|--|--|--|
| ル 主配管 (可搬型) | | | | | | | | | | ル 主配管 (可搬型) | | | | | | | | | |
| 名称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径*1 (mm) | 厚さ*2 (mm) | 材料 | 個数 | 取付箇所 | 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径*1 (mm) | 厚さ*2 (mm) | 材料 | 個数 | 取付箇所 | | | |
| 放射線物質拡散抑制系 | | | - | - | | | | 取水用ホース | *1 | 1.2** | 50** | 318.5 | (10.3) | SUS304TP | 1 | 屋外 O.P. 約 62m | | | |
| | | | | | | | | 送水用ホース | *2 | | | | | | | | | | |
| 放射線物質拡散抑制系 | | | | | | | | 放水配 | *1, *2 | | | 216.3 | (8.2) | SUS304TP | 1 | 屋外 O.P. 約 62m | | | |
| | | | | | | | | | | | | 220 | 10 (10) | CAC-006 | | 屋外 O.P. 約 14.8m | | | |

注記*1：外径は公称値を示す。
*2：()内は公称値を示す。
*3：本設備は、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (燃料プール代替注水系) であり、圧力低減設備その他の安全設備の放射線物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (放射線物質拡散抑制系)、放射線物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (放射線物質拡散抑制系) として本工事計画で兼用とする。
*4：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (放射線物質拡散抑制系)、放射線物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備 (放射線物質拡散抑制系) に記載する。
*5：放水取寸法 (公称値)：たて 4680.5mm、横 1920mm、高さ 2185mm
*6：重大事故等時における使用時の値。

7-3-(7)-d-3

02 第一 II R1

| 変更前 | | | | | | | | | | 変更後 | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|----|----|------|--------|--------|-------------|-------------|-----------|-----------|----------|----|-----------------|--|--|--|
| ル 主配管 (可搬型) | | | | | | | | | | ル 主配管 (可搬型) | | | | | | | | | |
| 名称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径*1 (mm) | 厚さ*2 (mm) | 材料 | 個数 | 取付箇所 | 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径*1 (mm) | 厚さ*2 (mm) | 材料 | 個数 | 取付箇所 | | | |
| 放射線物質拡散抑制系 | | | - | - | | | | 取水用ホース | *1 | 1.2** | 50** | 318.5 | (10.3) | SUS304TP | 1 | 屋外 O.P. 約 62m | | | |
| | | | | | | | | 送水用ホース | *2 | | | | | | | | | | |
| 放射線物質拡散抑制系 | | | | | | | | 放水配 | *1, *2 | | | 216.3 | (8.2) | SUS304TP | 1 | 屋外 O.P. 約 62m | | | |
| | | | | | | | | | | | | 220 | 10 (10) | CAC-006 | | 屋外 O.P. 約 14.8m | | | |

注記*1：外径は公称値を示す。
*2：()内は公称値を示す。
*3：本設備は、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (燃料プール代替注水系) であり、圧力低減設備その他の安全設備の放射線物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (放射線物質拡散抑制系) として本工事計画で兼用とする。
*4：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (放射線物質拡散抑制系)、放射線物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備 (放射線物質拡散抑制系) に記載する。
*5：放水取寸法 (公称値)：たて 4680.5mm、横 1920mm、高さ 2185mm
*6：重大事故等時における使用時の値。

7-3-(7)-d-3

02 第一 II R1

備考
記載の適正化
(兼用設備に関する
注記の記載の適正化)

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

変更前

| 変更前 | | | 変更後 | | |
|--|-------------|-------------|---------|---------|--------|
| 名称 | 最大使用圧 (kPa) | 最大使用温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| *17 ドライウェル出口配管分岐点 ~ T48-P046 | 427 | 171 | 609.6 | 9.5 | SM400C |
| | 427 | 104 | 609.6 | 9.5 | SM41C |
| *19 原子炉格納容器配管貫通部 ~ ドレイウェル出口配管分岐点 ~ T48-P045 | 427 | 171 | 609.6 | 17.5 | SM400C |
| | | | | 9.5 | SM41C |
| | | | | 9.5 | SM400C |
| | 427 | 171 | 609.6 | 9.5 | SM41C |
| | | | | 9.5 | SM400C |
| | | | | 9.5 | SM400C |
| | | | | 9.5 | SM400C |
| | 427 | 171 | 609.6 | 10.3 | STS110 |
| | | | | 10.3 | STS110 |
| | | | | 10.3 | STS110 |

原子炉格納容器配管貫通部
~
ドレイウェル出口配管分岐点
~
T48-P045

02 機一 二

内径および肉厚は製造業者の規格から公称できません。

7-3-(8)~7-16

変更後

| 変更前 | | | 変更後 | | |
|--|-------------|-------------|---------|---------|--------|
| 名称 | 最大使用圧 (kPa) | 最大使用温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 |
| *17 ドレイウェル出口配管分岐点 ~ T48-P046 | 427 | 171 | 609.6 | 9.5 | SM400C |
| | 427 | 104 | 609.6 | 9.5 | SM41C |
| *19 原子炉格納容器配管貫通部 ~ ドレイウェル出口配管分岐点 ~ T48-P045 | 427 | 171 | 609.6 | 17.5 | SM400C |
| | | | | 9.5 | SM41C |
| | | | | 9.5 | SM400C |
| | 427 | 171 | 609.6 | 9.5 | SM41C |
| | | | | 9.5 | SM400C |
| | | | | 9.5 | SM400C |
| | | | | 9.5 | SM400C |
| | 427 | 171 | 609.6 | 10.3 | STS110 |
| | | | | 10.3 | STS110 |
| | | | | 10.3 | STS110 |

原子炉格納容器配管貫通部
~
ドレイウェル出口配管分岐点
~
T48-P045

02 機一 二

内径および肉厚は製造業者の規格から公称できません。

7-3-(8)~7-16

備考

記載の適正化
(注記の適正化)

変更前

変更後

備考

二 主配管 (常設)

| 変更前 | | | | 変更後 | | | |
|--------------|--------------------------------|-------------|-------------|---------|---------|---------|--|
| 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 燃料移送ポンプ入口配管分岐点 | 0.98 | 66 | 60.5 | (5.5) | STPT110 | |
| ディーゼル発電設備 | ディーゼル発電設備 燃料移送ポンプ入口配管分岐点 | 0.98 | 66 | 60.5 | (5.5) | STPT270 | |
| | 燃料移送ポンプ | | | 76.3 | (5.2) | STPT270 | |
| | 燃料移送ポンプ 燃料アイタンク | 0.98 | 66 | 60.5 | (5.5) | STPT270 | |
| | 燃料アイタンク | | | 60.5 | (5.5) | STPT38* | |

注記※1：外径は公称値を示す。
※2：()内は公称値を示す。
※3：非常用電源設備の非常用発電装置 (ガスタービン発電設備、可搬型代替交流電源設備、可搬型代替直流電源設備、可搬型蒸気ガス供給装置発電設備)、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備と兼用。
※4：本設備は既存の設備である。

8-1-2-1-12

OR
II
R
◎

二 主配管 (常設)

| 変更前 | | | | 変更後 | | | |
|--------------|--------------------------------|-------------|-------------|---------|---------|---------------------|--|
| 名 | 称 | 最高使用圧 (MPa) | 最高使用温度 (°C) | 外径 (mm) | 厚さ (mm) | 材料 | |
| 非常用ディーゼル発電設備 | 非常用ディーゼル発電設備 燃料移送ポンプ入口配管分岐点 | 0.98 | 66 | 60.5 | (5.5) | STPT110 | |
| ディーゼル発電設備 | ディーゼル発電設備 燃料移送ポンプ入口配管分岐点 | 0.98 | 66 | 60.5 | (5.5) | STPT110 | |
| | 燃料移送ポンプ | | | 60.5 | (5.5) | STPT270 | |
| | 燃料移送ポンプ 燃料アイタンク | 0.98 | 66 | 76.3 | (5.2) | STPT270 | |
| | 燃料アイタンク | | | 60.5 | (5.5) | STPT270 | |
| | 燃料アイタンク | 0.98 | 66 | 60.5 | (5.5) | STPT38** STPT270 | |

注記※1：外径は公称値を示す。
※2：()内は公称値を示す。
※3：非常用電源設備の非常用発電装置 (ガスタービン発電設備、可搬型代替交流電源設備、可搬型代替直流電源設備、可搬型蒸気ガス供給装置発電設備)、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備と兼用。
※4：本設備は既存の設備である。

8-1-2-1-12

OR
II
R
◎

記載の適正化
(材料の J I S 表記の適正化)

変更前

| 変更前 | | | | 変更後 | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------|---------------------------|------------------|------------------|---------------------------|---------------------------|
| 名 | 称 | 外 径 ^{*1} (mm) | 厚 さ ^{*2} (mm) | 最 高 使 用 力 温 (°C) | 最 高 使 用 力 温 (°C) | 外 径 ^{*1} (mm) | 厚 さ ^{*2} (mm) |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点 | | | | | | | |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備 | 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点 | 60.5 | (5.5) | 66 | 0.98 | 60.5 | (5.5) |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点 | | | | | | | |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備 | 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点 | 60.5 | (5.5) | 66 | 0.98 | 60.5 | (5.5) |
| 燃料移送ポンプ | | | | | | | |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備 | 燃料移送ポンプ | 76.3 | (5.2) | 66 | 0.98 | 76.3 | (5.2) |
| 燃料ディライタンク | | | | | | | |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備 | 燃料ディライタンク | 60.5 | (5.5) | 66 | 0.98 | 60.5 | (5.5) |
| 燃料ディライタンク | | | | | | | |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備 | 燃料ディライタンク | 60.5 ^{**} | (5.5) ^{**} | 66 | 0.98 | 60.5 ^{**} | (5.5) ^{**} |

注記*1：外径は公称値を示す。
*2：()内は公称値を示す。
*3：非常用電源設備の非常用発電装置（ガスタービン発電設備、可搬型代替交流発電設備、可搬型代替直流発電設備、可搬型代替蓄電池装置）用燃料設備のうち燃料設備と兼用。
*4：本設備は既存の設備である。

8-1-2-2-11

○ 2 電 1 工 配 管

変更後

| 変更前 | | | | 変更後 | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------|---------------------------|------------------|------------------|---------------------------|---------------------------|
| 名 | 称 | 外 径 ^{*1} (mm) | 厚 さ ^{*2} (mm) | 最 高 使 用 力 温 (°C) | 最 高 使 用 力 温 (°C) | 外 径 ^{*1} (mm) | 厚 さ ^{*2} (mm) |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点 | | | | | | | |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備 | 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点 | 60.5 | (5.5) | 66 | 0.98 | 60.5 | (5.5) |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点 | | | | | | | |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備 | 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点 | 60.5 | (5.5) | 66 | 0.98 | 60.5 | (5.5) |
| 燃料移送ポンプ | | | | | | | |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備 | 燃料移送ポンプ | 76.3 | (5.2) | 66 | 0.98 | 76.3 | (5.2) |
| 燃料ディライタンク | | | | | | | |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備 | 燃料ディライタンク | 60.5 | (5.5) | 66 | 0.98 | 60.5 | (5.5) |
| 燃料ディライタンク | | | | | | | |
| 高圧炉心スプレイスライ系ディーゼル発電設備 | 燃料ディライタンク | 60.5 ^{**} | (5.5) ^{**} | 66 | 0.98 | 60.5 ^{**} | (5.5) ^{**} |

注記*1：外径は公称値を示す。
*2：()内は公称値を示す。
*3：非常用電源設備の非常用発電装置（ガスタービン発電設備、可搬型代替交流発電設備、可搬型代替直流発電設備、可搬型代替蓄電池装置）用燃料設備のうち燃料設備と兼用。
*4：本設備は既存の設備である。

8-1-2-2-11

○ 2 電 1 工 配 管

備考

記載の適正化
(材料の J I S 表記の適正化)

変更前

変更後

備考

記載の適正化
(個数の注記の適正化)

8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備
(2) 内燃機関
イ. 機関 (可搬型)

| | | 変更前 | 変更後 | |
|-----|-------|-----|----------------------------|-----------|
| 機 | 名称 | — | 電源車 (内燃機関) *1, *2 | |
| | 種類 | | 4 サイクル水冷直列直接噴射式 ディーゼル機関 | |
| | 出力 | | 430 kW/個 | |
| | 回転速度 | | 1500 min ⁻¹ | |
| | 燃料 | | 種類 | 軽油 |
| | | | 使用量 | 100 L/h/個 |
| | 個数 | | 1*3 | |
| 過給機 | 取付箇所 | — | 電源車 | |
| | 種類 | — | 排気タービン式 | |
| | 出口の圧力 | — | <input type="checkbox"/> | |
| | 回転速度 | — | <input type="checkbox"/> | |
| | 個数 | — | 1*2 | |
| | 取付箇所 | — | 機関と同じ | |

注記*1: 非常用電源設備の非常用発電装置 (可搬型代替直流電源設備) と兼用する。
*2: 本設備は、電源車 (発電機) の付属機器である。
*3: 電源車 (発電機) 1 個当たりの個数を示す。

8.1.2.4 可搬型代替交流電源設備
(2) 内燃機関
イ. 機関 (可搬型)

| | | 変更前 | 変更後 | |
|-----|-------|-----|----------------------------|-----------|
| 機 | 名称 | — | 電源車 (内燃機関) *1, *2 | |
| | 種類 | | 4 サイクル水冷直列直接噴射式 ディーゼル機関 | |
| | 出力 | | 430 kW/個 | |
| | 回転速度 | | 1500 min ⁻¹ | |
| | 燃料 | | 種類 | 軽油 |
| | | | 使用量 | 100 L/h/個 |
| | 個数 | | 1*3 | |
| 過給機 | 取付箇所 | — | 電源車 | |
| | 種類 | — | 排気タービン式 | |
| | 出口の圧力 | — | <input type="checkbox"/> | |
| | 回転速度 | — | <input type="checkbox"/> | |
| | 個数 | — | 1*2 | |
| | 取付箇所 | — | 機関と同じ | |

注記*1: 非常用電源設備の非常用発電装置 (可搬型代替直流電源設備) と兼用する。
*2: 本設備は、電源車 (発電機) の付属機器である。
*3: 電源車 (発電機) 1 個当たりの個数を示す。

0.2 ㊦ II R I

0.2 継ぎ目 II R I

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

8-1-2-4-1

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

8-1-2-4-1

| 変 更 前 | 変 更 後 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------|-----|----------------------------|-------|--|--|-----|--|--|--------------------|--|--|-----|---|--|----|--|--|-----|-----|--|----------------------------|--|--|---------------------------|-----|--|-----|--|--|---------------------------|---|--|----|--|--|---------|-----|----|-------------------|--|--|---|----|--------------------|--|--|-----|----|-------------------|--|--|-----|---|--|------------|--|--|-----|---|--|-----------------|--|--|---------|---|--|-----|--|--|--|-------|--|--|-------|--|--|-----|--|--|--------------------|--|--|-----|---|--|----|--|--|-----|-----|--|----------------------------|--|--|---------------------------|-----|--|-----|--|--|---------------------------|---|--|----|--|--|---------|-----|----|-------------------|--|--|---|----|--------------------|--|--|-----|----|-------------------|--|--|-----|---|--|------------|--|--|-----|---|--|-----------------|--|--|---------|---|--|-----|--|--|----------------------------|
| <p style="text-align: center;">ホ. 燃料デイトンク又はサービスタンク (可搬型)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">変 更 前</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">変 更 後</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">名 称</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">電源車 (燃料タンク) *1, *2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">角形</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">L/個</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">200 以上 (250^㉔)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力^{*4}</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">MPa</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">大気圧</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度^{*4}</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">℃</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>た て</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">535^{*3}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">1268^{*3}</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">395^{*3}</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">A5052P-H34</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">1^{*4}</td> </tr> <tr> <td>取 付 箇 所</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">電源車</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*1：非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替直流電源設備）と兼用する。 *2：本設備は、電源車（発電機）の付属機器である。 *3：公称値を示す。 *4：電源車（発電機）1個当たりの個数を示す。 *5：重大事故等時の使用時の値。</p> | 変 更 前 | | | 変 更 後 | | | 名 称 | | | 電源車 (燃料タンク) *1, *2 | | | 種 類 | — | | 角形 | | | 容 量 | L/個 | | 200 以上 (250 ^㉔) | | | 最 高 使 用 圧 力 ^{*4} | MPa | | 大気圧 | | | 最 高 使 用 温 度 ^{*4} | ℃ | | 60 | | | 主 要 寸 法 | た て | mm | 535 ^{*3} | | | 横 | mm | 1268 ^{*3} | | | 高 さ | mm | 395 ^{*3} | | | 材 料 | — | | A5052P-H34 | | | 個 数 | — | | 1 ^{*4} | | | 取 付 箇 所 | — | | 電源車 | | | <p style="text-align: center;">ホ. 燃料デイトンク又はサービスタンク (可搬型)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">変 更 前</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">変 更 後</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">名 称</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">電源車 (燃料タンク) *1, *2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">角形</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">L/個</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">200 以上 (250^㉔)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力^{*4}</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">MPa</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">大気圧</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度^{*4}</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">℃</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>た て</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">535^{*3}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">1268^{*3}</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">395^{*3}</td> </tr> <tr> <td>材 料</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">A5052P-H34</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">1^{*4}</td> </tr> <tr> <td>取 付 箇 所</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">—</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">電源車</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*1：非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替直流電源設備）と兼用する。 *2：本設備は、電源車（発電機）の付属機器である。 *3：公称値を示す。 *4：電源車（発電機）1個当たりの個数を示す。 *5：重大事故等時の使用時の値。</p> | 変 更 前 | | | 変 更 後 | | | 名 称 | | | 電源車 (燃料タンク) *1, *2 | | | 種 類 | — | | 角形 | | | 容 量 | L/個 | | 200 以上 (250 ^㉔) | | | 最 高 使 用 圧 力 ^{*4} | MPa | | 大気圧 | | | 最 高 使 用 温 度 ^{*4} | ℃ | | 60 | | | 主 要 寸 法 | た て | mm | 535 ^{*3} | | | 横 | mm | 1268 ^{*3} | | | 高 さ | mm | 395 ^{*3} | | | 材 料 | — | | A5052P-H34 | | | 個 数 | — | | 1 ^{*4} | | | 取 付 箇 所 | — | | 電源車 | | | <p>記載の適正化 (注記の適正化)</p> |
| 変 更 前 | | | 変 更 後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名 称 | | | 電源車 (燃料タンク) *1, *2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 類 | — | | 角形 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 容 量 | L/個 | | 200 以上 (250 ^㉔) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最 高 使 用 圧 力 ^{*4} | MPa | | 大気圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最 高 使 用 温 度 ^{*4} | ℃ | | 60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主 要 寸 法 | た て | mm | 535 ^{*3} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 横 | mm | 1268 ^{*3} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高 さ | mm | 395 ^{*3} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材 料 | — | | A5052P-H34 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個 数 | — | | 1 ^{*4} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取 付 箇 所 | — | | 電源車 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 変 更 前 | | | 変 更 後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名 称 | | | 電源車 (燃料タンク) *1, *2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 類 | — | | 角形 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 容 量 | L/個 | | 200 以上 (250 ^㉔) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最 高 使 用 圧 力 ^{*4} | MPa | | 大気圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最 高 使 用 温 度 ^{*4} | ℃ | | 60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主 要 寸 法 | た て | mm | 535 ^{*3} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 横 | mm | 1268 ^{*3} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高 さ | mm | 395 ^{*3} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材 料 | — | | A5052P-H34 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個 数 | — | | 1 ^{*4} | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取 付 箇 所 | — | | 電源車 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8-1-2-4-4 | 8-1-2-4-4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

02 © IIR1

02 軽微- IIR1

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

| 変更前 | | | 変更後 | | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------------|--|---|--|-----|-----|--|-----|--|-----|---|------------------|--|-----|---|-------|--|-----|-------|-----|--|---------|-----|----|--------|---|----|-------|-----|----|-------|---------|----|--------|---------|----|--------|---------|----|--------|-----|---|---------|--|-----|---|------|--|---|---|---|--|-------|----|----|--|---------|-------------------|------|--|-------|---|----|--|---------|---|------|--|-----|---|------------|--|---------|---|--|--|--|--|--|-----|--|-----|--|-----|---|------------------|--|-----|---|-------|--|-----|-------|-----|--|---------|-----|----|--------|---|----|-------|-----|----|-------|---------|----|--------|---------|----|--------|---------|----|--------|-----|---|---------|--|-----|---|------|--|---|---|---|--|-------|----|----|--|---------|-------------------|------|--|-------|---|----|--|---------|---|------|--|-----|---|------------|--|---------|---|---|--|-------------------------|
| (5) 発電機 イ 発電機 (可搬型) | | | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名 称</td> <td>—</td> <td colspan="2">電源車 (発電機) *1, *2</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td colspan="2">同期発電機</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>kVA/個</td> <td colspan="2">400</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主 要 寸 法</td> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>1352*3</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>750*3</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>730*3</td> </tr> <tr> <td>車 両 全 長</td> <td>mm</td> <td>6900*3</td> </tr> <tr> <td>車 両 全 幅</td> <td>mm</td> <td>2200*3</td> </tr> <tr> <td>車 両 高 さ</td> <td>mm</td> <td>2970*3</td> </tr> <tr> <td>力 率</td> <td>%</td> <td colspan="2">85 (遅れ)</td> </tr> <tr> <td>電 圧</td> <td>V</td> <td colspan="2">6900</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td colspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>周 波 数</td> <td>Hz</td> <td colspan="2">50</td> </tr> <tr> <td>回 転 速 度</td> <td>min⁻¹</td> <td colspan="2">1500</td> </tr> <tr> <td>結 線 法</td> <td>—</td> <td colspan="2">星形</td> </tr> <tr> <td>冷 却 方 法</td> <td>—</td> <td colspan="2">空気冷却</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td colspan="2">4 (予備1) *2</td> </tr> <tr> <td>取 付 箇 所</td> <td>—</td> <td colspan="2"> 保管場所： ・第1保管エリア O.P.約62m ・第2保管エリア O.P.約62m ・第3保管エリア O.P.約14.8m ・第4保管エリア O.P.約62m 予備を含めた5個を第2保管エリアに2個，第3保管エリアに2個，第4保管エリアに1個保管する。 取付箇所： ・電源車接続口 (原子炉建屋西側) O.P.約14.8m ・電源車接続口 (原子炉建屋東側) O.P.約14.8m </td> </tr> </tbody> </table> | | | 変更前 | | 変更後 | | 名 称 | — | 電源車 (発電機) *1, *2 | | 種 類 | — | 同期発電機 | | 容 量 | kVA/個 | 400 | | 主 要 寸 法 | た て | mm | 1352*3 | 横 | mm | 750*3 | 高 さ | mm | 730*3 | 車 両 全 長 | mm | 6900*3 | 車 両 全 幅 | mm | 2200*3 | 車 両 高 さ | mm | 2970*3 | 力 率 | % | 85 (遅れ) | | 電 圧 | V | 6900 | | 相 | — | 3 | | 周 波 数 | Hz | 50 | | 回 転 速 度 | min ⁻¹ | 1500 | | 結 線 法 | — | 星形 | | 冷 却 方 法 | — | 空気冷却 | | 個 数 | — | 4 (予備1) *2 | | 取 付 箇 所 | — | 保管場所： ・第1保管エリア O.P.約62m ・第2保管エリア O.P.約62m ・第3保管エリア O.P.約14.8m ・第4保管エリア O.P.約62m 予備を含めた5個を第2保管エリアに2個，第3保管エリアに2個，第4保管エリアに1個保管する。 取付箇所： ・電源車接続口 (原子炉建屋西側) O.P.約14.8m ・電源車接続口 (原子炉建屋東側) O.P.約14.8m | | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名 称</td> <td>—</td> <td colspan="2">電源車 (発電機) *1, *2</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td colspan="2">同期発電機</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>kVA/個</td> <td colspan="2">400</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主 要 寸 法</td> <td>た て</td> <td>mm</td> <td>1352*3</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>750*3</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>730*3</td> </tr> <tr> <td>車 両 全 長</td> <td>mm</td> <td>6900*3</td> </tr> <tr> <td>車 両 全 幅</td> <td>mm</td> <td>2200*3</td> </tr> <tr> <td>車 両 高 さ</td> <td>mm</td> <td>2970*3</td> </tr> <tr> <td>力 率</td> <td>%</td> <td colspan="2">85 (遅れ)</td> </tr> <tr> <td>電 圧</td> <td>V</td> <td colspan="2">6900</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td colspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>周 波 数</td> <td>Hz</td> <td colspan="2">50</td> </tr> <tr> <td>回 転 速 度</td> <td>min⁻¹</td> <td colspan="2">1500</td> </tr> <tr> <td>結 線 法</td> <td>—</td> <td colspan="2">星形</td> </tr> <tr> <td>冷 却 方 法</td> <td>—</td> <td colspan="2">空気冷却</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td colspan="2">4 (予備1) *2</td> </tr> <tr> <td>取 付 箇 所</td> <td>—</td> <td colspan="2"> 保管場所： ・第2保管エリア O.P.約62m ・第3保管エリア O.P.約14.8m ・第4保管エリア O.P.約62m 予備を含めた5個を第2保管エリアに2個，第3保管エリアに2個，第4保管エリアに1個保管する。 取付箇所： ・電源車接続口 (原子炉建屋西側) O.P.約14.8m ・電源車接続口 (原子炉建屋東側) O.P.約14.8m </td> </tr> </tbody> </table> | | | 変更前 | | 変更後 | | 名 称 | — | 電源車 (発電機) *1, *2 | | 種 類 | — | 同期発電機 | | 容 量 | kVA/個 | 400 | | 主 要 寸 法 | た て | mm | 1352*3 | 横 | mm | 750*3 | 高 さ | mm | 730*3 | 車 両 全 長 | mm | 6900*3 | 車 両 全 幅 | mm | 2200*3 | 車 両 高 さ | mm | 2970*3 | 力 率 | % | 85 (遅れ) | | 電 圧 | V | 6900 | | 相 | — | 3 | | 周 波 数 | Hz | 50 | | 回 転 速 度 | min ⁻¹ | 1500 | | 結 線 法 | — | 星形 | | 冷 却 方 法 | — | 空気冷却 | | 個 数 | — | 4 (予備1) *2 | | 取 付 箇 所 | — | 保管場所： ・第2保管エリア O.P.約62m ・第3保管エリア O.P.約14.8m ・第4保管エリア O.P.約62m 予備を含めた5個を第2保管エリアに2個，第3保管エリアに2個，第4保管エリアに1個保管する。 取付箇所： ・電源車接続口 (原子炉建屋西側) O.P.約14.8m ・電源車接続口 (原子炉建屋東側) O.P.約14.8m | | 記載の適正化 (保管場所の記載の適正化) |
| | | | 変更前 | | 変更後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名 称 | — | 電源車 (発電機) *1, *2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 類 | — | 同期発電機 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 容 量 | kVA/個 | 400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主 要 寸 法 | た て | mm | 1352*3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 横 | mm | 750*3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高 さ | mm | 730*3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 車 両 全 長 | mm | 6900*3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 車 両 全 幅 | mm | 2200*3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 車 両 高 さ | mm | 2970*3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 力 率 | % | 85 (遅れ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電 圧 | V | 6900 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相 | — | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 周 波 数 | Hz | 50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 回 転 速 度 | min ⁻¹ | 1500 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 結 線 法 | — | 星形 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 冷 却 方 法 | — | 空気冷却 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個 数 | — | 4 (予備1) *2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取 付 箇 所 | — | 保管場所： ・第1保管エリア O.P.約62m ・第2保管エリア O.P.約62m ・第3保管エリア O.P.約14.8m ・第4保管エリア O.P.約62m 予備を含めた5個を第2保管エリアに2個，第3保管エリアに2個，第4保管エリアに1個保管する。 取付箇所： ・電源車接続口 (原子炉建屋西側) O.P.約14.8m ・電源車接続口 (原子炉建屋東側) O.P.約14.8m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 変更前 | | 変更後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名 称 | — | 電源車 (発電機) *1, *2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 類 | — | 同期発電機 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 容 量 | kVA/個 | 400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主 要 寸 法 | た て | mm | 1352*3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 横 | mm | 750*3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高 さ | mm | 730*3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 車 両 全 長 | mm | 6900*3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 車 両 全 幅 | mm | 2200*3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 車 両 高 さ | mm | 2970*3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 力 率 | % | 85 (遅れ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電 圧 | V | 6900 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 相 | — | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 周 波 数 | Hz | 50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 回 転 速 度 | min ⁻¹ | 1500 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 結 線 法 | — | 星形 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 冷 却 方 法 | — | 空気冷却 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個 数 | — | 4 (予備1) *2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取 付 箇 所 | — | 保管場所： ・第2保管エリア O.P.約62m ・第3保管エリア O.P.約14.8m ・第4保管エリア O.P.約62m 予備を含めた5個を第2保管エリアに2個，第3保管エリアに2個，第4保管エリアに1個保管する。 取付箇所： ・電源車接続口 (原子炉建屋西側) O.P.約14.8m ・電源車接続口 (原子炉建屋東側) O.P.約14.8m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 02 © II R2 | | | 02 軽微—II R2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 注記*1：非常用電源設備の非常用発電装置 (可搬型代替直流電源設備) と兼用する。 *2：可搬型代替交流電源設備及び可搬型代替直流電源設備として4個を兼用する。可搬型代替交流電源設備，可搬型代替直流電源設備及び緊急時対策所ディーゼル発電設備として予備1個を兼用する。 *3：公称値を示す。 | | | 注記*1：非常用電源設備の非常用発電装置 (可搬型代替直流電源設備) と兼用する。 *2：可搬型代替交流電源設備及び可搬型代替直流電源設備として4個を兼用する。可搬型代替交流電源設備，可搬型代替直流電源設備及び緊急時対策所ディーゼル発電設備として予備1個を兼用する。 *3：公称値を示す。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8-1-2-4-13 | | | 8-1-2-4-13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 変 更 前 | 変 更 後 | 備 考 | | | | | | | | | | | | |
|---|-------|---------|-------|--|---|---------|---|-----|-----|-------|--|---|---------|----------------------------|
| <p style="text-align: center;">ロ 容器（可搬型）</p> <table border="1" data-bbox="232 341 936 512"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>変更前</th> <th>変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>タンクローリ*</td> </tr> </tbody> </table> <p>8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (2) 容器（可搬型） に記載する。</p> <p>注記* : 本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替交流電源設備）として本工事計画で兼用とする。</p> <p style="text-align: center;">8-1-2-5-8</p> | 名 称 | 変更前 | 変 更 後 | | — | タンクローリ* | <p style="text-align: center;">ロ 容器（可搬型）</p> <table border="1" data-bbox="1164 341 1868 512"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>変更前</th> <th>変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>タンクローリ*</td> </tr> </tbody> </table> <p>8. その他発電用原子炉の附属施設 8.6 補機駆動用燃料設備 8.6.1 燃料設備 (2) 容器（可搬型） に記載する。</p> <p>注記* : 本設備は、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備であり、非常用電源設備の非常用発電装置（可搬型代替直交流電源設備）として本工事計画で兼用とする。</p> <p style="text-align: center;">8-1-2-5-8</p> | 名 称 | 変更前 | 変 更 後 | | — | タンクローリ* | <p>記載の適正化 (注記の適正化)</p> |
| 名 称 | 変更前 | 変 更 後 | | | | | | | | | | | | |
| | — | タンクローリ* | | | | | | | | | | | | |
| 名 称 | 変更前 | 変 更 後 | | | | | | | | | | | | |
| | — | タンクローリ* | | | | | | | | | | | | |

O2⑥II R0

O2 軽微-I II R0

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

| 変更前 | | | 変更後 | | | 備考 |
|--|------|-------------------|---|---|-------------------|-----------------------------|
| (5) 発電機 イ 発電機 (可搬型) | | | 電源車 (緊急時対策所用) (発電機) *1 | | | 記載の適正化 (保管場所の記載の 適正化) |
| | | | 同期発電機 | | | |
| 名 | 称 | | 種 | 類 | — | |
| 容 | 量 | kVA/個 | 容 | 量 | kVA/個 | |
| 主 要 寸 法 | た | て | た | て | mm | |
| | 横 | | 横 | | mm | |
| | 高さ | | 高さ | | mm | |
| | 車両全長 | | 車両全長 | | mm | |
| | 車両全幅 | | 車両全幅 | | mm | |
| | 車両高さ | | 車両高さ | | mm | |
| 力 | 率 | % | 力 | 率 | % | |
| 電 | 圧 | V | 電 | 圧 | V | |
| 相 | | — | 相 | | — | |
| 周波数 | | Hz | 周波数 | | Hz | |
| 回転速度 | | min ⁻¹ | 回転速度 | | min ⁻¹ | |
| 結線法 | | — | 結線法 | | — | |
| 冷却方法 | | — | 冷却方法 | | — | |
| 個数 | | — | 個数 | | — | |
| 取付箇所 | | — | 取付箇所 | | — | |
| 保管場所： ・第1保管エリア O.P.約62m ・第2保管エリア O.P.約62m ・第3保管エリア O.P.約14.8m ・第4保管エリア O.P.約62m ・緊急時対策建屋北側 O.P.約62m 予備を含めた2個を、第4保管エ リアに1個及び緊急時対策建屋北 側に1個保管する。 取付箇所： ・緊急時対策建屋北側接続口 約 O.P.+62m | | | 保管場所： ・第4保管エリア O.P.約62m ・緊急時対策建屋北側 O.P.約62m 予備を含めた2個を、第4保管エ リアに1個及び緊急時対策建屋北 側に1個保管する。 取付箇所： ・緊急時対策建屋北側接続口 約 O.P.+62m | | | |
| 注記*1：可搬型代替交流電源設備、可搬型代替直流電源設備及び緊急時対策所ディーゼル発電設備として予備1個を兼用する。 *2：公称値を示す。 | | | 注記*1：可搬型代替交流電源設備、可搬型代替直流電源設備及び緊急時対策所ディーゼル発電設備として予備1個を兼用する。 *2：公称値を示す。 | | | |
| 8-1-2-6-8 | | | 8-1-2-6-8 | | | |

02 © II R1

02 軽微- II R1

変更前

変更後

備考

記載の適正化
(系統名称の適正化)

O2 ⑦ II R4

表1 系統防護設備の主要設備リスト(8/9)

| 設備区分 | 系統名称 | 機器区分 | 変更前 | | 変更後 | | 重大事故等 機器クラス | 重大事故等 設備分類 |
|------|------------------------------------|------|------------------------------------|-------------------------------|------|-------------------------------|----------------|---------------|
| | | | 名称 | 設計基準対象施設*1 新規 重要度 分類 | 名称 | 設計基準対象施設*1 新規 重要度 分類 | | |
| 電力設備 | P L R R V V F F / 区分II非常用電源設備系統 | 主配管 | ハロン1301貯蔵容器-区分II 非常用 電気品室 | - | クラス3 | - | - | |
| | | | 静止型PLRポンプ電源装置分岐点~ 静止型PLRポンプ電源装置 | - | クラス3 | - | - | |
| | | 管線 | ハロン1301貯蔵容器 | - | クラス3 | - | - | |
| | | | ハロン1301貯蔵容器~BIFインナー通 路(1) | - | クラス3 | - | - | |
| 熱水設備 | B I F イ ン ナ ー 通 路 熱 水 系 | 主配管 | ハロン1301貯蔵容器~BIFインナー通 路(2) | - | クラス3 | - | - | |
| | | | ハロン1301貯蔵容器~BIFインナー通 路(3) | - | クラス3 | - | - | |
| | | 管線 | ハロン1301貯蔵容器~BIFインナー通 路(4) | - | クラス3 | - | - | |
| | | | ハロン1301貯蔵容器 | - | クラス3 | - | - | |
| 電力設備 | D M C C R C C I 電力系 | 主配管 | ハロン1301貯蔵容器~DC RCI C MCC室 | - | クラス3 | - | - | |

8-4-3-39

O2 軽変一 II R4

表1 系統防護設備の主要設備リスト(8/9)

| 設備区分 | 系統名称 | 機器区分 | 変更前 | | 変更後 | | 重大事故等 機器クラス | 重大事故等 設備分類 |
|------|------------------------------------|------|------------------------------------|-------------------------------|------|-------------------------------|----------------|---------------|
| | | | 名称 | 設計基準対象施設*1 新規 重要度 分類 | 名称 | 設計基準対象施設*1 新規 重要度 分類 | | |
| 電力設備 | P L R R V V F F / 区分II非常用電源設備系統 | 主配管 | ハロン1301貯蔵容器-区分II 非常用 電気品室 | - | クラス3 | - | - | |
| | | | 静止型PLRポンプ電源装置分岐点~ 静止型PLRポンプ電源装置 | - | クラス3 | - | - | |
| | | 管線 | ハロン1301貯蔵容器 | - | クラス3 | - | - | |
| | | | ハロン1301貯蔵容器~BIFインナー通 路(1) | - | クラス3 | - | - | |
| 熱水設備 | B I F イ ン ナ ー 通 路 熱 水 系 | 主配管 | ハロン1301貯蔵容器~BIFインナー通 路(2) | - | クラス3 | - | - | |
| | | | ハロン1301貯蔵容器~BIFインナー通 路(3) | - | クラス3 | - | - | |
| | | 管線 | ハロン1301貯蔵容器~BIFインナー通 路(4) | - | クラス3 | - | - | |
| | | | ハロン1301貯蔵容器 | - | クラス3 | - | - | |
| 電力設備 | D M C C R C C I 電力系 | 主配管 | ハロン1301貯蔵容器~DC RCI C MCC室 | - | クラス3 | - | - | |

8-4-3-39

変更前

変更後

備考

| | | | 変更前 | 変更後 | |
|------|----------|---|-----|---|---------------|
| 名 | 称 | | - | 浸水防止蓋(第3号機海水熱交換器建屋海水ポンプ設置エリア点検用開口部) (No. 1), (No. 2) | |
| 種 | 類 | - | | 浸水防止蓋 | |
| 主要寸法 | た | て | | mm | 1000* |
| | 横 | | | mm | 1000* |
| | 高 | さ | | mm | 164* |
| | スキムプレート厚 | | | mm | 12.0以上(12.0*) |
| 材 | 料 | - | | SUS304 | |

注記 *: 公称値を示す。

| | | | 変更前 | 変更後 | |
|------|----------|---|-----|---|---------------|
| 名 | 称 | | - | 浸水防止蓋(第3号機海水熱交換器建屋海水ポンプ設置エリア点検用開口部) (No. 1), (No. 2) | |
| 種 | 類 | - | | 浸水防止蓋 | |
| 主要寸法 | た | て | | mm | 1000* |
| | 横 | | | mm | 1000* |
| | 高 | さ | | mm | <u>162*</u> |
| | スキムプレート厚 | | | mm | 12.0以上(12.0*) |
| 材 | 料 | - | | SUS304 | |

注記 *: 公称値を示す。

記載の適正化
(高さの記載の適正化)

O2 ② II R0

O2 軽微—II R0

| 変 更 前 | | | | 変 更 後 | | | | 備 考 | | |
|------------------|------------------|--------------------------------|--------|-------|-------------------------------|-------------------------------|------|----------------------------------|----------------------------------|--|
| O2 ⑥ II R0 | 名 称 | | | 変 更 前 | 変 更 後 | | | 記載の適正化 (浸水防止水密扉材 料の記載の適正化) | | |
| | 種 類 | | | - | RCW Hx(A)(C)室- 共通通路浸水防止水密扉 | | | | | |
| | 主 要 寸 法 | 扉 体 | た て | mm | - | 片開き扉 | | | | |
| | | | 横 | mm | | 3530* | | | | |
| | | 小 扉 | た て | mm | | 3060* | | | | |
| | | | 横 | mm | | 2060* | | | | |
| | 材 料 | 扉 板 | | - | SS400 | | | | | |
| | | 芯 材 | | - | SS400 | | | | | |
| | 取 付 箇 所 | 系 統 名 (ラ イ ン 名) | | - | - | | | | | |
| | | 設 置 床 | | m | 原子炉建屋 0.P.-8.10 | | | | | |
| | | 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 | | - | - | | | | | |
| | | 溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ | | - | - | | | | | |
| | O2 軽微- II R0 | 名 称 | | | 変 更 前 | 変 更 後 | | | 記載の適正化 (浸水防止水密扉材 料の記載の適正化) | |
| | | 種 類 | | | - | RCW Hx(A)(C)室- 共通通路浸水防止水密扉 | | | | |
| | | 主 要 寸 法 | 扉 体 | た て | mm | - | 片開き扉 | | | |
| 横 | | | | mm | 3530* | | | | | |
| 小 扉 | | | た て | mm | 3060* | | | | | |
| | | | 横 | mm | 2060* | | | | | |
| 材 料 | | 扉 板 | | - | SS41 SS400 | | | | | |
| | | 芯 材 | | - | SS41 SS400 | | | | | |
| 取 付 箇 所 | | 系 統 名 (ラ イ ン 名) | | - | - | | | | | |
| | | 設 置 床 | | m | 原子炉建屋 0.P.-8.10 | | | | | |
| | | 溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号 | | - | - | | | | | |
| | | 溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ | | - | - | | | | | |
| 注記 * : 公称値を示す。 | | | | | | | | | | |
| 8-5-2-15 | | | | | | | | | | |

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

| 変 更 前 | | | | 変 更 後 | | | | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|--------------------|--------------------|-------|--------------------|--|-------|-------|--|--|-----|--|--|---|------------------|--|--|-----|--|--|------|--|--|------|----|-----|-------|--|--|---|-------|--|--|----|-----|-----|-------|--|--|---|-------|--|--|----|-----|---|-------|--|--|-----|---|-------|--|--|------|--------------|---|---|--|--|-------|---|--------------------|--|--|----------------|---|---|--|--|--------------------|---|---|--|--|-------|--|--|-------|--|--|----------------------------------|
| O2 ⑥ II R0 | <table border="1"> <tr> <td colspan="3">名 称</td> <td>変 更 前</td> <td colspan="3">変 更 後</td> </tr> <tr> <td colspan="3">種 類</td> <td rowspan="10">-</td> <td colspan="3">HPCW Hx 室浸水防止水密扉</td> </tr> <tr> <td colspan="3">種 類</td> <td colspan="3">片開き扉</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td rowspan="2">扉体</td> <td>た て</td> <td colspan="3">3530*</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td colspan="3">3060*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小扉</td> <td rowspan="2">た て</td> <td>た て</td> <td colspan="3">2060*</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td colspan="3">1060*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材料</td> <td>扉 板</td> <td>-</td> <td colspan="3">SS400</td> </tr> <tr> <td>芯 材</td> <td>-</td> <td colspan="3">SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系 統 名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td colspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>m</td> <td colspan="3">原子炉建屋 O.P.-8.10</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>-</td> <td colspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td colspan="3">-</td> </tr> </table> | | | 名 称 | | | 変 更 前 | 変 更 後 | | | 種 類 | | | - | HPCW Hx 室浸水防止水密扉 | | | 種 類 | | | 片開き扉 | | | 主要寸法 | 扉体 | た て | 3530* | | | 横 | 3060* | | | 小扉 | た て | た て | 2060* | | | 横 | 1060* | | | 材料 | 扉 板 | - | SS400 | | | 芯 材 | - | SS400 | | | 取付箇所 | 系 統 名 (ライン名) | - | - | | | 設 置 床 | m | 原子炉建屋 O.P.-8.10 | | | 溢水防護上の 区画番号 | - | - | | | 溢水防護上の 配慮が必要な高さ | - | - | | | 変 更 前 | | | 変 更 後 | | | 記載の適正化 (浸水防止水密扉材 料の記載の適正化) |
| | | | | 名 称 | | | 変 更 前 | 変 更 後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 種 類 | | | - | HPCW Hx 室浸水防止水密扉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 種 類 | | | | 片開き扉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 主要寸法 | 扉体 | た て | | 3530* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 横 | | 3060* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小扉 | た て | た て | | 2060* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 横 | | 1060* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 材料 | 扉 板 | - | | SS400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 芯 材 | - | | SS400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 取付箇所 | 系 統 名 (ライン名) | - | | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 設 置 床 | m | | 原子炉建屋 O.P.-8.10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 溢水防護上の 区画番号 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 溢水防護上の 配慮が必要な高さ | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 種 類 | | | - | HPCW Hx 室浸水防止水密扉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 種 類 | | | | 片開き扉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主要寸法 | 扉体 | た て | 3530* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 横 | 3060* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小扉 | た て | た て | 2060* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 横 | 1060* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材料 | 扉 板 | - | SS41 SS400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 芯 材 | - | SS41 SS400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取付箇所 | 系 統 名 (ライン名) | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 設 置 床 | m | 原子炉建屋 O.P.-8.10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 溢水防護上の 区画番号 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 溢水防護上の 配慮が必要な高さ | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

注記 * : 公称値を示す。

注記 * : 公称値を示す。

女川原子力発電所第2号機 設計及び工事計画の軽微変更届出 変更前後比較表
【II 工事計画】

| 変 更 前 | | | | 変 更 後 | | | | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--|--------------------|--------|------------------------------------|------------------------------------|--|-------|-------|--|-----|--|--|---|------------------------------------|--|-----|--|--|------|--|------------------|--------|--------|-------|--|------|-------|--|--------|--|--------|-------|--|------|-------|--|--------|-----|---|-------|--|-----|---|-------|--|------------------|--------------|--|---|--|-------|--|--------------------|--|----------------|--|---|--|--------------------|--|---|--|------------------------------------|--|-------------|--|--|--|-----|--|--|-------|-------|--|-----|--|--|---|------------------------------------|--|-----|--|--|------|--|------------------|--------|--------|-------|--|------|-------|--|--------|--|--------|-------|--|------|-------|--|--------|-----|---|----------------------|--|-----|---|----------------------|--|------------------|--------------|--|---|--|-------|--|--------------------|--|----------------|--|---|--|--------------------|--|---|--|----------------------------------|--|
| O2 ⑥ II R0 | <table border="1"> <tr> <td colspan="3">名 称</td> <td>変 更 前</td> <td colspan="2">変 更 後</td> </tr> <tr> <td colspan="3">種 類</td> <td rowspan="10">-</td> <td colspan="2">HPCW Hx室-RCW Hx(B) (D)室 浸水防止水密扉</td> </tr> <tr> <td colspan="3">種 類</td> <td colspan="2">片開き扉</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 寸 法</td> <td rowspan="2">扉 体</td> <td>た て mm</td> <td colspan="2">3530*</td> </tr> <tr> <td>横 mm</td> <td colspan="2">3060*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小 扉</td> <td rowspan="2"></td> <td>た て mm</td> <td colspan="2">2060*</td> </tr> <tr> <td>横 mm</td> <td colspan="2">1060*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 料</td> <td>扉 板</td> <td>-</td> <td colspan="2">SS400</td> </tr> <tr> <td>芯 材</td> <td>-</td> <td colspan="2">SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td colspan="2">系 統 名 (ライン名)</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設 置 床</td> <td colspan="2">原子炉建屋 O.P.-8.10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の 区画番号</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2">-</td> </tr> </table> | | | 名 称 | | | 変 更 前 | 変 更 後 | | 種 類 | | | - | HPCW Hx室-RCW Hx(B) (D)室 浸水防止水密扉 | | 種 類 | | | 片開き扉 | | 主 要 寸 法 | 扉 体 | た て mm | 3530* | | 横 mm | 3060* | | 小 扉 | | た て mm | 2060* | | 横 mm | 1060* | | 材 料 | 扉 板 | - | SS400 | | 芯 材 | - | SS400 | | 取 付 箇 所 | 系 統 名 (ライン名) | | - | | 設 置 床 | | 原子炉建屋 O.P.-8.10 | | 溢水防護上の 区画番号 | | - | | 溢水防護上の 配慮が必要な高さ | | - | | HPCW Hx室-RCW Hx(B) (D)室 浸水防止水密扉 | | O2 軽微—II R0 | <table border="1"> <tr> <td colspan="3">名 称</td> <td>変 更 前</td> <td colspan="2">変 更 後</td> </tr> <tr> <td colspan="3">種 類</td> <td rowspan="10">-</td> <td colspan="2">HPCW Hx室-RCW Hx(B) (D)室 浸水防止水密扉</td> </tr> <tr> <td colspan="3">種 類</td> <td colspan="2">片開き扉</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主 要 寸 法</td> <td rowspan="2">扉 体</td> <td>た て mm</td> <td colspan="2">3530*</td> </tr> <tr> <td>横 mm</td> <td colspan="2">3060*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小 扉</td> <td rowspan="2"></td> <td>た て mm</td> <td colspan="2">2060*</td> </tr> <tr> <td>横 mm</td> <td colspan="2">1060*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 料</td> <td>扉 板</td> <td>-</td> <td colspan="2"><u>SS41</u> SS400</td> </tr> <tr> <td>芯 材</td> <td>-</td> <td colspan="2"><u>SS41</u> SS400</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td colspan="2">系 統 名 (ライン名)</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設 置 床</td> <td colspan="2">原子炉建屋 O.P.-8.10</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の 区画番号</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2">-</td> </tr> </table> | | | 名 称 | | | 変 更 前 | 変 更 後 | | 種 類 | | | - | HPCW Hx室-RCW Hx(B) (D)室 浸水防止水密扉 | | 種 類 | | | 片開き扉 | | 主 要 寸 法 | 扉 体 | た て mm | 3530* | | 横 mm | 3060* | | 小 扉 | | た て mm | 2060* | | 横 mm | 1060* | | 材 料 | 扉 板 | - | <u>SS41</u> SS400 | | 芯 材 | - | <u>SS41</u> SS400 | | 取 付 箇 所 | 系 統 名 (ライン名) | | - | | 設 置 床 | | 原子炉建屋 O.P.-8.10 | | 溢水防護上の 区画番号 | | - | | 溢水防護上の 配慮が必要な高さ | | - | | 記載の適正化 (浸水防止水密扉材 料の記載の適正化) | |
| | | | | 名 称 | | | 変 更 前 | 変 更 後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 種 類 | | | - | HPCW Hx室-RCW Hx(B) (D)室 浸水防止水密扉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 種 類 | | | | 片開き扉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 主 要 寸 法 | 扉 体 | た て mm | | 3530* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 横 mm | | 3060* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 小 扉 | | た て mm | | 2060* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 横 mm | | 1060* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 材 料 | 扉 板 | - | | SS400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 芯 材 | - | | SS400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 取 付 箇 所 | 系 統 名 (ライン名) | | | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 設 置 床 | | | 原子炉建屋 O.P.-8.10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 溢水防護上の 区画番号 | | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 溢水防護上の 配慮が必要な高さ | | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 名 称 | | | 変 更 前 | 変 更 後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 類 | | | - | HPCW Hx室-RCW Hx(B) (D)室 浸水防止水密扉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 類 | | | | 片開き扉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主 要 寸 法 | 扉 体 | た て mm | | 3530* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 横 mm | | 3060* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小 扉 | | た て mm | | 2060* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 横 mm | | 1060* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材 料 | 扉 板 | - | | <u>SS41</u> SS400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 芯 材 | - | | <u>SS41</u> SS400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取 付 箇 所 | 系 統 名 (ライン名) | | | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 設 置 床 | | | 原子炉建屋 O.P.-8.10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 溢水防護上の 区画番号 | | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 溢水防護上の 配慮が必要な高さ | | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 注記 * : 公称値を示す。 | | | | 注記 * : 公称値を示す。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8-5-2-17 | | | | 8-5-2-17 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |